

Discussion Paper Series

Center for Social and Environmental Systems Research, NIES

No. 2014-03

新地町立尚英中学校ワークショップ
「2050年の新地町を考えよう！」
報告書

岩淵裕子 増井利彦 芦名秀一 高橋敬子 金森有子 戸川卓哉 亀井未穂
藤田壮 森保文 大西悟 松橋啓介

社会環境システム研究センター

2014 4月



本ディスカッションペーパーシリーズは、独立行政法人国立環境研究所の研究者および外部研究協力者によって行われた研究成果をとりまとめたものです。関係する方々から幅広く意見やコメントを得るための場として公開しています。

論文は、すべて研究者個人の責任で執筆されており、独立行政法人国立環境研究所の見解を示すものではありません。

新地町立尚英中学校ワークショップ

「2050年の新地町を考えよう！」

報告書

独立行政法人 国立環境研究所

NPO 法人 みらいと

株式会社 協和コンサルタンツ

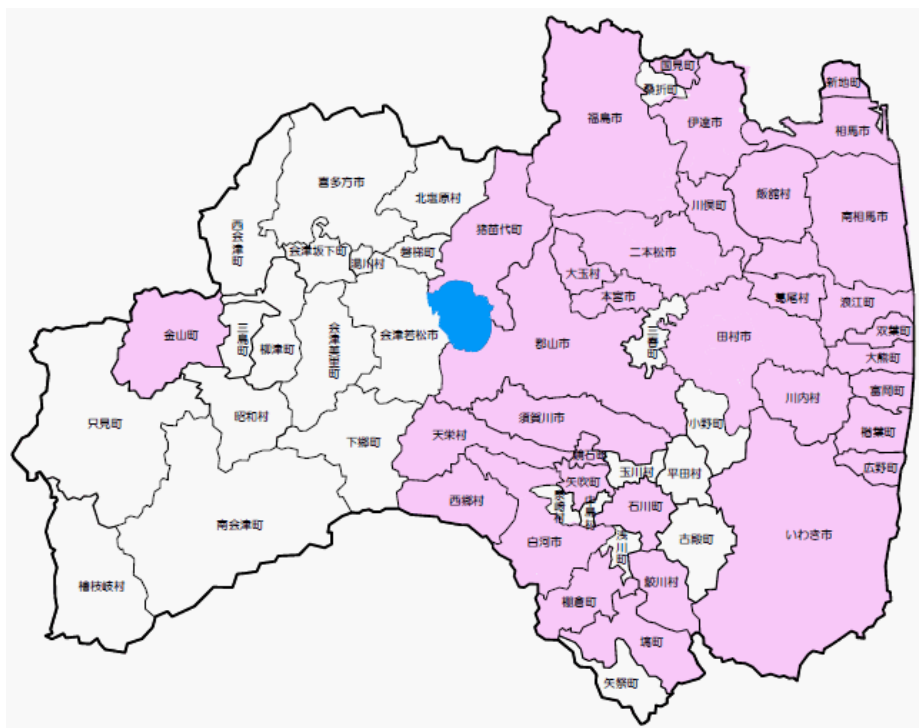
2014年3月

目次

1. 背景と目的	1
2. ワークショップの概要	3
3. ワークショップの結果とアンケート調査結果	5
4. まとめと今後の課題	30
付録1 事前に配布した宿題	31
付録2 当日資料	36
付録3 アンケート票	43

1. 背景と目的

東日本大震災から3年が経過し、避難指示区域に指定されている地域を除いては、除染が進められるとともに、生活や産業の再建に向けて動き出している。図1-1に示すように、震災の被害を受けた多くの自治体で復興計画が策定されている。一方、こうした復興のために準備された予算も含め、多くは比較的短期的な視点で計画されることが多い。できるだけ早急に震災前の生活を取り戻すということはもちろんではあるが、より長期的な視点でこうした復興計画を俯瞰するとき、日本社会は高齢化や温暖化問題など様々な課題を抱えており、いずれこうした課題に対しても解決策を示すことが必要となる。その意味では、東日本大震災は不幸な出来事ではあったが、震災からの復興に向けて動いている地域は、そうした課題を克服し、震災前よりも豊かで持続可能な社会の実現に資するような施策を他の地域に先駆けて盛り込むことが可能であるともいえる。



■ 復興計画等策定済み:34市町村 □ 策定予定なし:25市町村

出典：http://www.cms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=28201

図1-1 福島県における復興計画の策定状況

こうした長期的な視点に立ったとき、地域住民の方々が復興の先にある地元に対して、どのような将来像を望んでいるのか、実現したいのかを検討することは、将来ビジョンを設定する上で重要となる。とりわけ、将来において社会の中心で活躍する若い世代の意見を聞くとともに、そうした世代に対して将来の社会を意識してもらうことは、構築したビジョンを絵に描いた餅に終わらせないためにも有意義であるといえる。そこで、今回は、国立環境研究所と基本協定を結んでいる新地町において、新地町立尚英中学校及び新地町、教育委員会の協力を得て、新地町立尚英中学校の1年生88名を対象に、2050年の新地町を考えるワークショップを実施することとなった。

なお、本ワークショップは総合学習の時間を利用して行うことから、環境教育の実践の場としても位置づけ、新地町の 2050 年の姿を検討する上での参考となるように環境問題に関する授業についてもあわせて行うこととした。

2. ワークショップの概要

復興の先にある長期的なビジョンについては、これまでも総合計画で示されることは多かったが、復興が進む中で、具体的なイメージを共有することは、そのビジョンの実現に向けて重要な取り組みとなる。とりわけ、遠い将来を担う若者たちが望ましいと思う将来像を把握することは、短期的な復興だけでなく、長期的な取り組みを継続する上で重要となる。こうした考え方のもと、国立環境研究所では、協和コンサルタンツ、NPO 法人みらいと、新地町と共同で、2014年1月に新地町立尚英中学校の1年生を対象とした「2050年の新地町」を考えるワークショップを実施した。対象とした1年生の多くは2000年生まれであり、2050年には50歳を迎える世代であり、2050年の新しい社会を構築するなかで、まさに中心的な役割を担う世代である。こうした世代が、何を望ましいと考えているのか、どのような新地町にしたいのか、について把握し、それに向けたロードマップを描くことを試みるため、本ワークショップを企画した。

ワークショップの検討から実施までの経緯を表2.1に示す。当初は、様々な町民の意見を聞くということで、ワークショップを企画したが、新地町教育委員会の協力により、環境教育の一環として実施できることとなった。一方で、教育課程の一環として行うことは、授業の中で完結させることが求められ、2時間という時間制約の中で行うことが求められた。こうした様々な条件を整理し、所内で意見交換を行った上で、表2.2に示す要領で本ワークショップを実施することとした。

表 2.1 ワークショップ開催までの経緯

2013年11月	復興を超えた将来ビジョン（2050年）を共有するためのワークショップを提案。新地町とワークショップについて協議し、教育委員会を通じて、新地町立尚英中学校1年生を対象に行うことを決定。
2013年12月12日	所内でワークショップ開催について打合せ。
2013年12月19日	新地町との環境未来都市の打合せの場を利用して、ワークショップの概要説明、打合せ。
2014年1月9日	対象となる尚英中学校で、全体説明と打合せ。宿題の確認（時間が限られており、宿題を通じて2050年の姿をイメージしてもらう）。
2014年1月17日	所内でワークショップの進行に関する打合せ。進行台本の作成。
2014年1月23日	ワークショップ開催。

表 2.2 ワークショップ当日のスケジュール

13:30-13:40	目的と作業の説明。
13:40-13:55	グループ作業1：一人ひとりが考えてきた新地町の未来の姿を説明。あわせて、パズルで見た3つのことばと「世界に自慢できる新地町の環境」を紹介。【1人2分ずつ】
13:55-14:10	環境問題についての話題提供。
14:10-14:15	質問。
14:15-14:20	休み時間。
14:20-14:50	グループ作業2：2050年、2030年の新地町について各グループで話し合う。
14:50-15:00	グループ作業3：発表のための準備。
15:00-15:15	グループ作業4：発表。【各グループ3分ずつ】
15:15-15:20	発表へのコメント、アンケート記入。

前述の通り、ワークショップの実施時間が2時間という限られた時間であることから、あらかじめ生徒には宿題を出して、2050年の新地町の姿を考えてもらうことにした。また、2050年の新地町だけを考えることは困難であることから、まずは、どのような50歳になってほしいかを考えてもらい、その延長として新地町がどうなってほしいかを検討してもらうこととした。あわせて、2050年だけでなく、2030年についても同様の検討を行ってもらい、時間の継続性についても踏まえてもらうように配慮した。さらに、国立環境研究所の夏の大公開で行ったパズルを配付し、パズルに隠されていることばを3つ探してきてもらった。また、生徒が考える「世界に自慢できる新地町の環境」についても検討してきてもらうことにした。宿題の内容に関しては、付録1に示す。

当日の進行は、国立環境研究所のスタッフが各組において全体のファシリテーターを務めた。また、議論は各組の生活班をもとに行った。生活班は5-6名からなる班で、各組ともに5つの班で構成されている。このため、1年生全体で15個(3組×5班)の新地町の将来像が描かれることになった。なお、班での議論が活発になるように、班ごとに国立環境研究所、NPO法人みらいと、協和コンサルタンツ、新地町役場のスタッフやクラス担任が付いて、議論を見守り、時には意見を聞き出す役割を果たすこととした。また、環境問題に関する講義については、組ごとに、エネルギー問題、ごみ問題、温暖化問題を対象に設定した。表2.3に当日の支援状況を示す。また、付録2に、当日使用、配布したスライドを示す。

表 2.3 組別の対応状況 (敬称略)

	1組	2組	3組
クラス担任	羽根田一弘	佐藤美千子	武澤さやこ
環境研 (全体ファシリテーター)	芦名秀一	高橋敬子	岩淵裕子
環境研 (話題提供)	芦名秀一 (エネルギー)	金森有子 (ごみ)	増井利彦 (温暖化)
環境研	亀井未穂 戸川卓哉	藤田壮	—
新地町役場	黒沢知子・西牧直		加藤孝佳
NPO 法人みらいと	小泉憲章	笠間拓朗	村上茉南
協和コンサルタンツ	佐藤恭子	山本沙代子	佐藤千尋
	馬場吉信		

3. ワークショップの結果とアンケート集計結果

新地町の2050年の姿を考えよう！

1年1組 グループ① 天パ

	事前に考えてきた新地町の姿				みんなで話し合った新地町の姿	
パズルで 見たことは	あんしん おかね きぼう	しごと さいしん おかね	たのしい しごと いきもの	たのしい しぜん きぼう	きぼう あんしん たのしい	
世界に誇れる 新地町の環境	鹿狼山 豊かな自然 きれいな海 特産物が豊富					
50歳の時の 新地町 (2050年)	年寄が増えている 建物が増えている 年寄も運転できる車 海の再興 釣師浜がきれいになる バスなど交通の便がよくなる 新幹線が通る 鹿狼山の登山客が増えイベントを行う 住みたいと思う町になっている 復興がわかり、今ないものがふえる			人口が増える 介護施設の充実 若者がふえる 高速道路の整備		消費税がない ユニバーサルスタジオ新地（無料） ドラえもんがいる いろいろ運動できる場所がいっぱいある バスケがいっぱいただでできる場所がある お店がいっぱいある 町ごとおばけ屋敷になる
30歳の時の 新地町 (2030年)	海水浴ができる 電車が開通 人口が増える 若者が町に入ってくる 復興がすすむ 特産物が人気になる 住宅の増加 新しい建物ができる たくさんの人の往来する活気ある町 病院ができて人々の生活に欠かせなくなる			新地駅の復活 道路がふえ便利になる		新幹線がくる やっと放射線がなくなる 医療技術が進歩している

発表の内容

- ・新地町だけ消費税がない、町ごとおばけ屋敷になる、ドラえもんがいっぱいいる
- ・ユニバーサルスタジオ新地、ドラえもんがいる
- ・いろいろ運動できる場所がいっぱいある、バスケがいっぱいただでできる場所がある。
- ・新幹線がくる、やっと放射線がなくなる、医療技術が進歩している
- ・お店がいっぱいある、商店街が便利になる



班サポーターからのコメント

事前に提出してもらった2050年の新地町に対する解答は、コンサバティブな感じで鉄道が通っている、道路が便利になっている、など、交通に関するものが多かったように感じました。基本的なサービスのインフラについてのものが多く、現状では基本的な生活サービス（特に本屋さん、バスケットコートなど）が満足のいくように整っていないことが感じられました。

When you are 50 years old, What will you be?

班サポーター 所属 環境研 名前 亀井 未穂

1年1組 グループ② いなか者だっぺ！！

	事前に考えてきた新地町の姿				みんなで話し合った新地町の姿	
パズルで 見たことば	景気 仕事 年金	あんしん けんこう やくば	ふるさと あんしん けんこう	けんこう あんしん やま	ともだち きぼう しんらい	しぜん ふるさと いきもの
世界に誇れる 新地町の環境	ホタルがたくさんできれい のびのびと暮らせる きれいな日の出 自然が豊か					
50歳の時の 新地町 (2050年)	自然を目当てに観光客がふえる 地産地消ができて日本で誇れる食材がある 海がきれいになり海水浴もできる 人口がふえる(若者・老人) 老人でも簡単に運転できる車 駅が単線から複線に、本数も増える 鹿狼山は変わらず、人気のスポットに 農業に携わる若者が増え活発化 様々な世代が遊べる施設ができる ほとんどの車が電気自動車になる			大農園をつくり都市から農業が好きな人を受け入れる おいしい野菜を売り込めるような定期市を設ける 農業の大学をつくる 農業をする若者が増えるような企画をする 駅が大きくなり、たくさんの電車が通る 外国人が好むような商店街をつくる(ex中華街) 新地城が復元され歴史好きの人でにぎわう 図書館を大きくする 遊ぶ施設がほしい		
30歳の時の 新地町 (2030年)	交通がよくなる 店がふえる 老人の割合が増えている ショッピングモール リピーターが増える 電車が復旧、仙台までつながる きれいな自然を保護するため各地から人が集まる 多くの老人が元気に明るく暮らしている 相馬に行かなくても近くで色々な買い物ができる 放射能によって一時期買われなかった特産物をアピール			新幹線が通る 全被災者が家を建て直す 商店街が若者の手で活性化される 大きな会社ができる サッカー場 働く場所が増える ショッピングセンター 釣りのできる施設がある 有名なデザイナーの支店をおく 東京まで今より短時間で行ける ゲームセンター ディズニースー 博物館ができる		

発表の内容

- ・パズルで見た言葉は、「あんしん、ふるさと、けんこう」が多かった
- ・世界に誇れる新地町の環境は、山も海もある自然だということ今回話し合った
- ・50歳の新地として望んでいることは、大農園をつくり都市から農業が好きな人を受け入れる等
- ・30歳の新地として望んでいることは、東京オリンピック後ということで、交通の便がよくなり、商店街が若者の手で活性化され、お店が増え、働く場所が増え、たくさん人がくる
- ・私達がのぞむことは「きれいな自然を残しながら、日本中の人に認識されるようなまちになる」ということが今回の話し合いで明らかになった。この目標に向かってがんばっていきたい



班サポーターからのコメント

先生方から子どもたちは発言しないのでは、との話があったが、積極的に発言をしていた。

When you are 50 years old, What will you be?

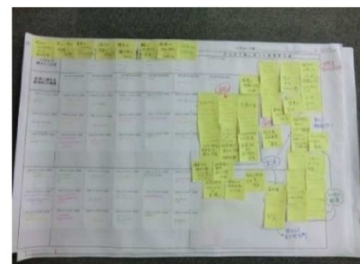
班サポーター 所属 みらいと 名前 小泉 憲章

1年1組 グループ③ 周治

	事前に考えてきた新地町の姿				みんなで話し合った新地町の姿	
パズルで 見たことば	あんしん きぼう けんこう	あんしん きぼう しんらい	たのしい あんしん しぜん	あんしん たのしい しごと	ふるさと たのしい あんしん	
世界に誇れる 新地町の環境	野菜が新鮮でおいしい 自然がたくさんある 海がきれいなこと		鹿狼山から見た日の出 鹿狼山		福祉 老人ホームの追加 福祉に関する仕事について説明する人をふやす 老人でも気軽に出かけられる交通機関 ほうしゃ線を気にせず生活できるようになる 家庭で出たゴミなどを使ったエコカー	
50歳の時の 新地町 (2050年)	ショッピングモール 公共の運動場やグラウンド 自然の保護 やさしい人がたくさんいる 老人ホームが増える 老人の乗り降りしやすいバスが増える 老人の暮らしやすい町づくり ずっと子どもの声が響いている町 お店がある海水浴場 気候がいい		もっと発展した町 活気があふれている 自然が豊か 医療機関の充実		生活 ↓ 安心して すごせる 町	自然 自然が豊かになっている 再生可能エネルギー 物を捨てない 特産物のPR 海の物を何でも食べられる
30歳の時の 新地町 (2030年)	工場地帯になっている 暮らしやすい町 福田や駒が峯の交通 自然が破壊されない町 交通機関の充実 緑地公園でイベントなど町民が楽しめる場 ずっと子どもが安心して暮らせる町 防災に強い町 たくさん人が入れる老人ホーム もっと人口が増える		他県からも観光客がくる ゴミが1つもないキレイな町 動物病院 自然が増える 駅が使いやすいくなる			自然を生かしたもの しんち酒をつくる 郷土のお祭りの伝承
						新しい施設づくり 2つめの温泉をつくる（お年寄りが気軽に来れる）
					子どもの教育 子どもが気軽に何でもさわられるようにしたい コンピューターを使いやすくする 体育館をふやす 子どもたちに夢を与えるような教育のしかた 夢をサポートする子どもが使いやすい施設	

発表の内容

- ・2050年の考えとして4つの視点があった
- ・ひとつめは「自然」、自然が豊かになっているためには、再生可能エネルギーが必要
- 自然が豊かになると、いろんな特産物がとれる
- ・ふたつめは、「生活」、生活しやすいということで、老人や若者向けの施設、交通機関の話がでた
- ・みつつめは「安心」、警察や役場が信頼を得るなどがでた
- ・よつつめは「子供の教育」で、コンピューターを使いやすくする、子ども達の夢を夢で終わらせない、子供が使いやすい施設づくりがでた



班サポーターからのコメント

小学校から中学校に入り、環境も仲間も変わってようやく落ち着いてくる時期で、時期としては3学期がちょうどよかった。今後はまち歩きなども組み合わせるといい（談）。

先生が班サポーターだったため、リラックスした雰囲気、たくさんの意見が出ていた。

When you are 50 years old, What will you be?

班サポーター 所属 尚英中学校 名前 羽根田一弘

1年1組 グループ④ ザ！チップーズ

	事前に考えてきた新地町の姿				みんなで話し合った新地町の姿	
パズルで 見たことは	しごと もったいない ふるさと	さい しごと きぼう	しぜん きぼう くらし	ともだち ふるさと けんこう	けんこう しぜん くらし	
世界に誇れる 新地町の環境	鹿狼山 自然豊か 海					
50歳の時の 新地町 (2050年)	たくさんの方が入れる老人ホーム 高齢化がすすむ 常磐線の本数がふえる 釣師浜で釣ができる 高い堤防ができる 鹿狼山が人気スポットになる 子どもたちの声が響きわたるようになってる 子どもたちが安全に遊べる遊具がふえる しんちゃんGOがかんたんに利用できる 汚染がなくなる			運動公園 駅が復活 魚がとれるようになる 観光客がふえる		人の役に立つボランティア お金もちになる 外国に行く人がいる 30歳の時よりは静かな休日をお過ごしている
30歳の時の 新地町 (2030年)	復興がすすむ 住宅がいたくさんある町 新地町の特産物が人気になっている 新地町でできた安全で新鮮な野菜をうっている 常磐線がだんだんもどり電車がとおるようになる えきもともにもどる しんちゃんGOの本数がふえる だれもが気軽に買い物できるスーパーがある 釣師浜の海水浴場では店をつくっている 高いていぼうができる			新地町の人口がふえる 新地タワー 工場がふえる 仮設がへる 発電所ができる		JAXAに入る人がいる 俳優の人がいる 仕事は分からないが楽しい 30歳の時よりは静かな休日をお過ごしている 売地がへる 森林増える 電車がたくさん走っている ししゃをよみがえられせるきかいができる はくじんにかわるくすりができる さかなにあしがはえて上陸してくる スーパーがたくさんできる 魚がいつでも食べられる 学校が増える 保育園がふえる 電化製品がふえる 自然にやさしい暮らし 売地がふえる 高速道路ができる 仕事をして働いている 仙台あたりでくらししている ハリウッド俳優になる人がいる

発表の内容

- ・パズルでくらしが多かった
- ・世界に誇れる新地町の環境では、鹿狼山が多かった
- ・50歳の時の新地は、高齢化が進む、常磐線の本数が増える、釣師浜で釣りができるなどが挙げられた
- ・30歳の時の新地は、釣師浜の海水浴場では店を作っている、常磐線がだんだんもどり、電車が通るようになる
- ・みんなで話し合った新地町の姿では、JAXAに入る人がいる、弁護士になる人がいる、お金持ちになる人がいるといった意見が挙げられた



班サポーターからのコメント

野菜や魚が食べられるようになってい、駅が元通りになっているという東日本大震災の影響から解放されているという意見が比較的多かった。人口や子供が増え、家・住宅地が増え、スーパーが増えるなど、今よりもっとよくなっている未来を描く生徒が多かった。海外（宇宙も？）も含め、仙台など新地町外に出ているといった意見も比較的多く、新地にいと明言した生徒はいなかった。

When you are 50 years old, What will you be?

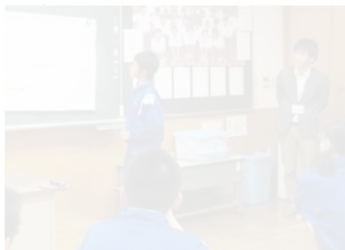
班サポーター 所属 協和C 名前 佐藤 恭子

1年1組 グループ⑤ スネオーズ

	事前に考えてきた新地町の姿				みんなで話し合った新地町の姿	
パズルで 見たことば	きぼう あんしん ねんきん	きぼう あんしん しぜん	さいしん くらし ともだち	あんしん きぼう くらし	たのしい けんこう あんしん	
世界に誇れる 新地町の環境	鹿狼山からの風景 自然が豊か		きれいな緑 自然が多い			
50歳の時の 新地町 (2050年)	役場にタイムマシン 駅周辺が整備される 子どもが増える 自然をいかした施設 電気自動車を使用 森林が増えている 釣師に太陽光発電が整備される 色々な年代の人が交流 大きな病院ができて何の病気でも治る薬ができる 自然エネルギー（太陽光・風力）だけで生活		家が増える 新幹線が走る 観光客が訪れる 常磐線の本数が増える お年寄りがみな元気		キーワード ゼビオ ジャスコ（ショッピングセンター） ゲームセンター 新地タワー 高速道路 発電所 自然に優しい 観光地	
30歳の時の 新地町 (2030年)	季節ごとに楽しいイベント 釣師浜がきれいに直される 電気自動車が使われている 常磐線の本数がふえる 大きな病院ができる 仙台やいわき市に早くいける 自然がきれいになっている ボランティアをする町民がふえる 農業工場ができる お店が増えている		駅の利用が活発になる 太陽光発電ができる 風力発電所が完成する 高速道路が完成する 釣や漁がさかになる			

発表の内容

- ・30年後は、季節ごとに楽しいイベントがある。釣師浜に太陽光発電が整備される。釣りや漁がさかになる。電気自動車が使われている、釣師浜がきれいに直される、お店が増えている、常磐線の本数が増える、高速道路が完成して、仙台やいわき市に早くいける、釣師に太陽光発電が整備される等
- ・駅や病院など、まちをどうすればいいのかの話が多く出た。
- ・自然を生かして観光客が増え、生活が豊かになり、お年寄りも元気になって、高速道路ができて移動しやすい。
- ・具体的な施設名が出てきた。子供が増えるためジャスコができるなどの意見がでた。



班サポーターからのコメント

課題のパズルでは、あんしん・安全（女子）と未来・開発指向（男子）の2グループに分かれるような結果であった。2030年は病院や駅周辺の開発、高速道路整備などまちづくりに関する意見が中心であったが、2050年には観光・自然環境までスコープが広がった。人口増加や高齢者対策など政策的な提案も書き出せていた。全員が将来も新地に住んでいたいという意見だったのが印象的。

When you are 50 years old, What will you be?

班サポーター 所属 環境研 名前 戸川 卓哉

尚英中学校は新地町内唯一の中学校であり、新地町の3つの小学校から生徒が集まってくる。1年生の1月は、中学校という新しい環境の中で、小学校の枠を越えた人間関係が醸成されるとともに、3年生が高校受験に向けて学習を重ねる姿が見られるなどの経験を通じて、自分だけではなく社会の将来にも目が向けられるようになっていく時期であり、1年生を対象とした将来を考えるワークショップを開催するには適切な時期であったようである。

1年1組では、ワークショップに先立ち依頼した宿題について自宅に持ち帰り、家族と相談することも可能としていた。その影響もあってか、事前の検討内容は他のクラスと比較して現在の延長線上にあるような将来像（高齢化、老人ホームに関するものなど）や具体性の高い将来像（常磐線の本数が増える、電気自動車の普及など）が多かったように見受けられる。

先生方からは事前に「活発には意見が出ないかもしれない」という話を頂いていたが、実際にワークショップが始まると各班ともに活発な意見交換がなされていた。これには、2011年以降さまざまに児童や生徒を対象とした本ワークショップのような議論や意見交換する機会があったことも影響しているとは推察されるものの、各班共に時間の限りそれぞれが意見を出し合っており、慣れだけではなく生徒それぞれが自分の意見を出すことを意識している様子が見受けられた。

議論の中から描き出された将来の新地町の姿としては、いくつかはその場のノリで出されたような意見（魚に足が生えて上陸してくる、など）や放射能に関する意見もあるが、多くが普段の生活の中で感じていることを出発点に、それは将来改善されているだろうという観点から出された意見が多いように思われる。たとえば、「バスケットボールができる場所が増える」や「図書館を大きくする」、「二つ目の温泉を作る」などである。また、「売地が減る」、「農業を担う若者が増える」など、新地町の発展を、新地町ならではの手法で達成させていきたいといった意見もあった。これらからは、生徒は自分たちの新地町のことをよく見ていることがうかがわれる。

今後の展開としては、実際に新地町を歩いて気づきを集め、それらが将来の新地町ではどうなっているかを考えることができると、将来の新地町のイメージをより強く持つことができるのではないだろうか。また、プロジェクションマッピングなどのイメージを三次元的に表現できるような技術と組み合わせで見せることも有効と考えられる。

1年2組 グループ① I LOVE 新地

	事前に考えてきた新地町の姿				みんなで話し合った新地町の姿		
パズルで 見えたことは	しごと おかね けんこう	けんこう ともだち ねんきん	けんこう けいき いきもの	しごと あんしん おかね	うし びざ さいしん	あんしん けいき しぜん	
世界に誇れる 新地町の環境	緑が多い 農業がさかん!! 自然が多い				キャッチコピー：自然が豊かで 明るく安全、安心な新地町		
50歳の時の 新地町 (2050年)	大きな買い物施設ができ町内みんなで楽しめる 公園が大きくなる 人口増加 新しい家が並ぶ 自然がたくさんふえる 農業などが活発になる 森林が多くなる 神楽が有名になる 子どもが増える				海の近くに建物がたつてほしい にら、いちじく、りんごが特産物 電車 店が増える 家がたくさん 高速道路 みんなで仲よし 新地の特産物が有名になってほしい		
30歳の時の 新地町 (2030年)	人が増える 環境がよくなる 子どもたちが遊べる場所がふえる 泊まる場所が増える デパートなどが増える 自然が守られている エコカーがふえる 笑顔で明るい新地町になる				高速道路が早く出来てほしい 人口増加 海 自然 みんなが健康で!! 児童館 環境		

発表の内容

- ・世界に誇れる新地町の環境は、海が近いこと、緑が多い、自然が多い、海と山が近いことです。
- ・それをもとに考えたキャッチコピーが、自然が豊かで明るく安全、安心な新地町です。
- ・森林や農業が発展して欲しい、自然環境を良くして欲しい。
- ・2050年は人口増加で、子どもが増えるなど新しい家が建ち、人がたくさん集まって人口が増加する。
- ・2030年には、病院などができて泊まる場所も増えて、人口が増える。
- ・30年後も50年後も新地町に伝えられているかぐらなどのなどの伝統が伝えられるまちであって欲しい。
- ・最後に、まちが工業的に発展して欲しいです。



班サポーターからのコメント

アンケートをのぞいた時は、「あまり将来を考えたことない」と回答していた子どもが多かったが、町を非常によく知っているな、という印象。引っ越してきた子からは、都会化につながるキーワードが多く出されたが他の子は皆、町の文化や町の復興（復興という言葉では無かったが）といったアイデアが多く出た。

When you are 50 years old, What will you be?

班サポーター 所属 環境研 名前 金森有子

1年2組 グループ② 学力向上（笑）

	事前に考えてきた新地町の姿				みんなで話し合った新地町の姿	
パズルで 見たことは	おかね たのしい あんしん	けんこう くらし おかね	しんらい たのしい ふるさと	おかね しごと あんぜん		
世界に誇れる 新地町の環境	人口の多さw 自然が豊かww					
50歳の時の 新地町 (2050年)	森林がいっぱい ビルが建つ 所々バリアフリーな町 災害に強い町 緑化と都市化の両立 交通の面などで便利に 観光地がふえる 人口増加 子どもがふえる			人口増加 交通が便利になる 空港ができる 電車がとおる 道路がひろくなる 安心する町づくり ビルやお店がふえて、すみやすい町になる 観光スポットを説明できる人がいる 有名人がくるほどのレストラン	就職しやすくなる 高校や大学ができる 災害につよい町 動物園 博物館 遊園地	
30歳の時の 新地町 (2030年)	病院がやくにたつ 災害を世に伝える場所 釣師浜が人気のマリンスポットになる イベントがふえる デパートや色んな店がある にぎやかな町になっている 観光地のような人の集まる場所 電車が通る 常磐線の本数がふえる			田んぼがへる⇔木がふえる 砂浜ができる 夏にイベントがいっぱいふえる 観光バス 学校に美味しい給食 高速どうろ ひこうきがとおる 職人街 お金がふえる 海外の人がふえる		

発表の内容

- ・2050年の事前に考えてきた意見は、緑化などの意見が多く出ました。
- ・今言った中では（みんなで話し合った姿）は、緑化よりも都市化が多くでした。
- ・2030年は建物をたくさん建設し、にぎわいのあるまち、観光地ができる、交通の便など都市化などの意見ができました。
- ・一番たくさんでたのは、建物を作るなどという都市化の意見が多かったです。



班サポーターからのコメント

事前の記述、議論での提案を通じて、2050年の将来像については、自然の保護や緑の保全などの提案が多かったのに対し、2030年の身近な将来については、にぎわいや施設の建設など具体的な要望が多かった。

議論では、若干具体的な生活の復興への要望が多くなった

When you are 50 years old, What will you be?

班サポーター 所属 環境研 名前 藤田 壮

1年2組 グループ③ ルンルン♪

	事前に考えてきた新地町の姿				みんなで話し合った新地町の姿	
パズルで 見たことは	ふるさと あんしん くらし	あんしん いきもの しぜん	やくば しんらい ねんぎん	さいしん たのしい あんしん	きぼう あんしん もったいない	あんしん&ふるさと &さいしん
世界に誇れる 新地町の環境	いろいろな動物たちがしあわせにいきている。 ユニークな人が多い 人と人との絆 自然の豊かさ 人々の交流が多い(祭りなど)				自然と人が豊か	
50歳の時の 新地町 (2050年)	尚英中学校が100%進学できる学校になっている 世界一美しい町になる あいさつがさかん 緑がたっぷいのどかな町 自然が多い ゴミが殆ど無い綺麗な町 人がたくさん 原発がなおつてる ケーブルカーができる 子どもが安心して暮らせる 環境に優しい町 皆が笑って暮らせる、苛めや暴行、差別等がない町 森が増える 復興が全て終わっている 震災が起きてても被害があまりないようになる				どことなく和風 腐敗臭が臭わない 町が平和 鹿狼山の緑がいっぱい みんなが仲よし 人がいっぱい、にぎやかな町 鹿狼山にゴミが落ちていない山になる アニメイト ディズニーランド 公園も遊具もいっぱい デパート サッカー場 ディズニーシー 芸術の町 復興が終わる 店がふえる 大きい事を成しとげた人が生まれる	
30歳の時の 新地町 (2030年)	ゆうえんち 電車ができた 風力発電が出来た 復興活動が終わる 森林が今よりも増える ソーラーパネルができる 高速道路が完成 店が増える 老人ホームや保育所がふえる家が新しくなる 病院が活躍している あいさつが絶えない町 機械がはったつする 若い人が増える 人口が増える				星空がきれいに見える 高速ができる コンビニが多くなる 果物がいっぱい かぐらが有名になっている 時給10万円の役場 電子黒板使用で有名になる よさこいで有名な町 あわよくばオリンピック出場選手誕生 人口が増えている 駅	

発表の内容

- ・50年後の新地町は、人がいっぱいでもちが賑やかです。
- ・30歳の時の新地町は、高速道路ができていて、かぐらが有名になっている。
- ・芸能人がいっぱいくること。新地町に笑顔がいっぱいになって欲しいから。60歳以上でも働ける町。
- ・老人ホームがふえていることです。理由は、お年寄りが多く、お年寄りが住みやすいまちにしたい。
- ・火力発電が最先端技術を取り入れて、まち全体で発電ができるまちがいいと思いました。
- ・みんなが環境を大切にすまち。今はポイ捨てが多いけど、将来はポイ捨てがなくなればいいと思います。
- ・子ども達が笑顔でお年寄りとの交流も盛んな町になって欲しいです。



班サポーターからのコメント

子ども達も積極的にワークに参加してくれ楽しんでやっていた。50歳の新地町については、夢のような内容を想定したが、現実的な内容だった。自分たちの町の復興に興味を持って、考えていると改めて実感した。

When you are 50 years old, What will you be?

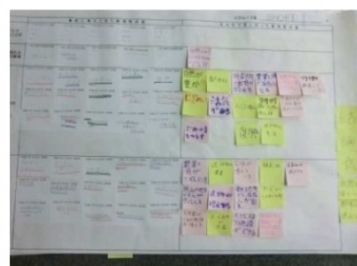
班サポーター 所属 みらいと 名前 笠間拓朗

1年2組 グループ④ SHO E I

	事前に考えてきた新地町の姿				みんなで話し合った新地町の姿	
パズルで 見たことは	あんしん ともだち けんこう	たのしい しんらい あんしん	あんしん さいしん しぜん	きぼう あんし けんこう	おかね ふるさと けんこう	
世界に誇れる 新地町の環境	自然が多い!! 鹿狼山 いろんな人がすんでいる		新地町の人々の団結力 老人が元気		自然が多く団結力があって みんなが元気!	
50歳の時の 新地町 (2050年)	人口増加 笑顔が多い おまつりがいっぱい 自然豊か 自然エネルギーの発電所ができる 花火大会がいっぱい かいがんふきんがにぎわっている たくさんの新地町の行事ができて、にぎわっている 復興 みんな元気		観光名所がふえる 新地駅完成!		自然が豊か 特産物の出荷がはじまる 自然を活かしたものが増える リサイクルが進んでいる にぎわい 人口増加 ごみの量が減少する 復興 都市化 農業と漁業が有名になる 活気がある リサイクルの種類がふえる ごみの量を減らす 近代的な生活	
30歳の時の 新地町 (2030年)	海水浴で人がにぎわう 若者が多い 自然豊か! みんな優しくて親切 お年寄りが住みやすい町になっている 環境が改善 漁と農業の機械が進化 子どもが楽しむ場所がふえる つなみの(きた)あとに家がたっている ショッピングセンターなどべんりな店ができる		店がたくさんできる 都市化がすすむ 便利な高速道路ができる		農業と漁がさかんに!! 子どもが増えている 廃棄物が減少する 老人に親切な町 新地町から有名が出る お年寄りのための施設がふえる 人と自然の共存 大きなスポーツ施設ができる 町民たちと協力してにぎやかな町になる 沢山の地方から人がやってくる	

発表の内容

- ・世界に誇れる新地町の環境は、自然が多く団結力があってみんなが元気!だということです。
- ・50歳の時の新地町の様子は、自然が豊かで都市化が進んでいて、特産物の出荷が始まっていて、農業と漁業が有名になっていて、リサイクルが進んでいる。
- ・これを実現するためには、30歳の時に農業と漁をさかんにして、特産物の出荷や農業と漁を有名にしたり、子どもが増えて、50年後には都市化が進んで、たくさん人がやってきて、活気のある街になったりしている。
- ・自然を豊かにするには、人と自然の共存だと思います。結論は、都市化をするのを保ちつつ自然も残す。森林を伐採するのではなく、海の方を使って、自然を保って都市化を進めていきたい。



班サポーターからのコメント

「自然」「にぎわい」「復興」が大きなテーマとなっていた。具体的なストーリーを描いた意見が多かった。自分自身がどのような生活をしているか・どんな仕事をしているかという視点よりも、将来新地町をどれだけよいまちにできるか全員積極的に考えており、強い意気込みを感じた。

When you are 50 years old, What will you be?

班サポーター 所属 協和C 名前 山本沙代子

1年2組 グループ⑤ ハッピーマン

	事前に考えてきた新地町の姿				みんなで話し合った新地町の姿	
パズルで 見たことは	ねんきん たのしい しごと	くらし きぼう たのしい	おかね たのしい あんぜん	あんぜん しあわせ あんしん	あんしん けんこう たのしい	たのしい・安心・安全・しあわせ 仕事・くらし・年金・おかね
世界に誇れる 新地町の環境	自然がたくさん 人との絆 きれいな海		鹿狼山から見るきれいな日の出 おいしい米、野菜 自然がいっぱいある		自然・鹿狼山・きれい・おいしい ウコン清水・健康・絆	
50歳の時の 新地町 (2050年)	お店がいっぱい増える 自然がたくさんある 渡辺病院が復活する 観光できる場所ができる 人がいっぱいくる 人口が増える(1万人) 鹿狼山は今とかわらず人気スポット 緑がたくさんある にぎやかな町にしたい ショッピングモール		電車が通って便利に 未来がある町 ビルができる		50年後のキーワード にぎやかー町・店・暮らし・ビル・病院・ レジャースポーツ・ 便利・生活 人口増加 復興ー自然・森林・田畑・植物 ゴミ処理場 食物ー米・果物 未来ー良心・海	
30歳の時の 新地町 (2030年)	魚が新鮮で海がきれい 家がいっぱいできる 原発がなおって明るい町 いろいろな施設が建設される 若い人が増え活性化する いろいろな店ができる くらしをよくできる町 お年寄りに不自由のない町 新しい病院ができる お店がいっぱいできる		超有名な町にしたい 夢がいっぱいある町 かんがい施設が整う		30年後のキーワード 夢ー明るい・犯罪なし・交通安全 海ーきれい・新鮮・魚・森林・山 いっぱい ー店・家・建設・かんがい設備 復興ー観光地・場所・若者 原発問題かいけつ	

発表の内容

- ・パズルで見た言葉は、たのしい、あんしん、あんぜん、しあわせ、しごと、くらし、ねんきん、おかね
- ・世界に誇れる新地町の環境は、自然・鹿狼山・きれい・おいしい・ウコン清水・健康・絆
- ・50年後のキーワードは、にぎやかー町・店・暮らし・ビル・病院・レジャースポーツ・便利・生活 人口増加 復興ー自然・森林・田畑・植物 ゴミ処理場 食物ー米・果物 未来ー良心・海
- ・30年後のキーワードは、夢ー明るい・犯罪なし・交通安全 海ーきれい・新鮮・魚・森林・山いっぱいー店・家・建設・かんがい設備 復興ー観光地・場所・若者 原発問題かいけつ
- ・新地にはすばらしいところがたくさんある、新地町のことがよく分かった。



班サポーターからのコメント

When you are 50 years old, What will you be?

班サポーター 所属 尚英中学校 名前 佐藤美千子

2時間の授業時間内に、「パズルで見えたことば」、「世界に誇れる新地町の環境」、「2050年の新地町」、「2030年の新地町」についてお互いの意見を出し合ってまとめ、発表するという一連の作業を行うのは中学1年生では難しいのではないかと思ったが、各班のサポーターの誘導もあり、全ての班がそれぞれの考えをまとめ、発表することができていた。

1時間目に各自が宿題で考えてきた内容を発表する場面では、班のサポーターや他の生徒の前で宿題を発表することに抵抗がある生徒もいたため、なかなか思うように発言が出てこない班もあったが、2時間目のまとめの場面では、班の中での発言にも慣れてきたせいも、かなり活発な意見交換ができていたように思う。恥じらいを持ちながらも、一人一人が「こんなまちなになったらいいのに」というお互いの意見を伝え、さらにその意見を広げられるような話し合いの場づくりが出来ていたように感じた。

新地町の良さについては、「自然」、「環境」、「文化」、「伝統」、「コミュニケーション」等のさまざまな視点から評価し、考えていることが伺えた。また、生徒それぞれが新地町についてよく知っており、客観的に評価しているという印象を受けた。2組の意見で印象的だったのは、新地町に住んでいるからこそ分かる人々の団結力や絆といったコミュニティの魅力が意見として出ていたことである。

2030年、2050年の新地町の姿については、新地町の豊かな自然や人々の団結力といった魅力を活かしながら、それをどのようにして発展させるかという方向性で考えている点は素晴らしいと思った。自然の豊かさを保ちながら、都市化も進めていきたい、また人々がたくさん集うまちにしたいという生徒たちならではの自由な発想が発言できるワークショップにできたのは良かったと思う。

発表の準備では、短時間でそれぞれ個性が際立つグループ名の命名や発表の役割分担も行い、自分たちのまとめた意見を他の生徒の前でもしっかりと発信できていた。

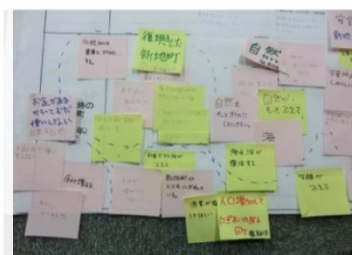
反省点としては、2030年、2050年の2つのイメージを話し合ってもらうことにしていたため、2050年についての話し合いが十分にできなかったことである。自分たちの身近な地域の将来や自分たちの将来について考え、それを友人とともに話し合う機会というのは日常生活ではなかなかないため、これを機会に将来のこと、まちのことについてさらに興味を持ち、新地町のまちづくりに参画できるような大人になってもらいたいと思う。

1年3組 グループ①

	事前に考えてきた新地町の姿				みんなで話し合った新地町の姿	
パズルで見えたことば	あんしん ちきゅう けんこう	しんらい きぼう くらし	ふるさと たのしい きぼう	くらし けんこう しんらい	ちきゅう けんこう くらし	
世界に誇れる新地町の環境	緑がたくさんある きれいな鹿狼山 自然がいっぱいある、豊かなところ きれいな海				①お金があるからってむだ使いない むだ使いない 身近に店がふえる	
50歳の時の新地町 (2050年)	災害に対応しやすい町 海にさんごがいる 鹿狼山が残っていてほしい 震災前ようになっている 復興している にぎやか、みんな笑顔に 今より豊かな町になっている人口増加 高速道路や電車が通っている 海や山などがとてもきれいで自然のことを大切にす町 伝統的な行事などを大切にす町 釣師浜が有名なスポットになり全国的に有名になる 若い人の移住が増え様々な年の人がふれあう コミュニケーションができ、きずなも深まっている				②人口増加してにぎわいのある町 人口増加 漁業が復活 仕事をする所がふえる 町がとてもにぎわっている	
30歳の時の新地町 (2030年)	緑がもっと増えている 今の町より豊かになっている 人口が増えて犯罪がなくなるみんなで協力しあえる町に 遊ぶ所がほしい (子供) 店が近くにある 海、山がきれい 震災前の町に近付いている 高速道路が通っている 祭りなどのイベントが増える 海水浴場も新しく直され、ふたたび海水浴でにぎわう町 復興が進み、明るい新地町になっている とてもにぎわう町 地震での被害が復興している				③安全な新地町に 災害にすぐに対応できる 日本一、平和な町に 災害防止がしっかりとしている 事故などがなくなっている 放射線に問題がない食べ物が増えてほしい 二酸化炭素を排出しないような発電ができてほしい 笑顔がふえる	
					④自然 自然をもっと大切に 緑が豊かな町に 海水浴が復活する 子供が遊べる場所が増える	
					⑤復興した新地町 震災前の新地町のようになっている 高速道路や電車が通っている 伝統的な行事を大切にす	

発表の内容

- 1、お金があるからといって無駄遣いしない町になってほしい
- 2、人口が増加してにぎわいのある町になってほしい
- 3、災害が防止できる安全な新地町になってほしい
- 4、海水浴場が復興して海がきれいになり自然の豊かな新地町になってほしい
- 5、復興して最高の新地町になってほしい



班サポーターからのコメント

思った以上に活発に意見を出してもらい、生徒達の潜在能力の高さを感じた。出された意見も、自然や暮らし、安全性、人口など多岐にわたっていて、新地町の将来を真剣に考えていることが伝わった。新地町を魅力ある状態で次世代に引き継ぐためにも、我々の世代がしっかりと復興に取り組む必要があることを痛感した。

When you are 50 years old, What will you be?

班サポーター 所属 環境研 名前 増井利彦

1年3組 グループ②

	事前に考えてきた新地町の姿				みんなで話し合った新地町の姿
パズルで 見たことは	くらし しぜん ねんきん	きぼう たのしい	ふるさと いきもの	ちきゅう あんしん	
世界に誇れる 新地町の環境					
50歳の時の 新地町 (2050年)	豊かな町になっている 海も緑もきれい ごみなどが落ちていない 鹿狼山は大人気のスポットに 浜は震災前以上に栄えきれいな海になっている ショッピングセンターがたくさんできている 子どもたちが楽しく遊べる施設や公園がある 家がたくさんできる すみやすくなっている 新しい車が開発されている 事故がなくなる 地域の人々の絆がある 町の伝統がずっと伝わる 電車やバスなど交通の便がよくなりみんな来やすくなる				自然を育て、大切にす 木を植える・自然を増やす・ 木を切ったり燃やしたりしない 森林破壊を防ぐ・緑をかたづけしから増やす 太陽光発電・ソーラーパネル 太陽光発電で電気をつくる・ 家のやねにソーラーパネルを置く 電気自動車 二酸化炭素を出さないように電気自動車にする 発電ー風力発電にする・水力発電にする
30歳の時の 新地町 (2030年)	復興がすすむ(おわる) 人がたくさん増える 人気スポットができている 観光客がいっぱい 住宅が増えて楽しい生活をおくる 自然が豊かでいてほしい くらしやすい町になっている 家事の道具が今より便利に お店などの設備がととのい若い人などが使いやすくなる 生き物も動物も今のようにいる ボランティア活動が多くなっている 自然豊かで明るい町になっている				エコ・リサイクル 節電する・化石燃料をなるべく使わない・再利用する ごみをなるべくごみ減らすようにする

発表の内容

- ・みんなが考えた中でいちばん多かったのは復興に関すること
- ・次に多かったのは自然を育て大切にすること。講和をきいてやっぱり自然は大事だと思った
- ・次は電気自動車を使うこと。地球温暖化の話をして自動車を減らし、電気自動車を増やして、ガソリンの使用をへらさなきゃと思った
- ・エコリサイクル。ごみをなるべく減らし再利用する
- ・太陽光発電・ソーラーパネルを家の屋根の置く。風力発電への切り替え
- ・この授業を聞いて、自然は大切にしたい方いいと思った。



班サポーターからのコメント

宿題で書いてきた2030年、2050年のシールには「復興」した新地町を描いた意見が多くあった。二酸化炭素についての話を聞いて、子ども達の将来への意見が、二酸化炭素をださないために、将来何をしているか、どうなっているか、などに変化していったことが印象に残った。

When you are 50 years old, What will you be?

班サポーター 所属 みらいと 名前 村上 菜南

1年3組 グループ③ 自然!!!

	事前に考えてきた新地町の姿				みんなで話し合った新地町の姿		
パズルで 見たことば	いきもの しぜん けんこう	あんしん くらし けんこう	けいき ちきゅう けんこう	あんしん しんらい きぼう	くらし ちきゅう けんこう	けんこう あんしん ちきゅう	
世界に誇れる 新地町の環境	鹿狼山 きれいな日の出 自然					鹿狼山 日の出 自然	
50歳の時の 新地町 (2050年)	人がたくさんいてほしい 子どもがたくさんいる 森林・川がきれいになる 交通手段が充実している まちがにぎわっている 森林がふえる 絶滅危惧種が少なくなっていてほしい 町中にきれいな花が植えられている。 夏の釣師浜は全国から人が来て大にぎわい！ お店がふえる（パン屋・だがし屋				自然があってほしい 鹿狼山が残っていてほしい 海水浴ができる 魚介類がふえる		
					人口増加ー子ども・移住 自然ー鹿狼山が残っている・海水浴・夏の釣師の海 店ーパン・だがし屋・動物園・水族館・遊園地 交通ー曲がり角をへらす・信号機・横断歩道 ・電車・バス・タクシー 町のみみんなで協力して花を植えきれいな町に 50年後にあってほしいもの		
					↑ キャッチフレーズ みんな仲良く！		
30歳の時の 新地町 (2030年)	人口増加 きれいな自然がある 子供がたくさんいてほしい 医療の充実 若い人の移住 絶滅危惧種が少なくなる 鹿狼山や釣師の海がきれいになり観光客が増える 公園が増え外で親子で遊ぶ機会が多くなる きれいな町であってほしい お店がふえる（パン屋・だがし屋・ネコカフェ）				そのためには・・・ 子どもを産む ボランティア活動 ゴミ拾い 分別する 木を植える 木を切らない 新地に住む カン・ビン拾い かんばん 川の清掃 花を植える 生き物の保護 人口増加のために、世界にネットで移住をよびかける 学校などでボランティアを授業でとりいれる		

発表の内容

- ・キャッチフレーズは「みんな仲良く、自然な町」
- ・パズルで見たことばで共通していたのは「けんこう・あんしん・ちきゅう」
- ・世界に誇れる新地町の環境は「鹿狼山・日の出・地球」
- ・50年後には人口がふえてほしい、そのためには町に住み続け、子どもを産むこと
- ・町がにぎやかになるために、ネットなどで移住をよびかける
- ・学校などでボランティア活動で、ゴミ拾いなどをとりいれる
- ・川の清掃、花を植える、生き物の保護



班サポーターからのコメント

皆地元の子で仲のよいのが印象的でした。班だけでなくクラス全体に結びつきの強さを感じました。3～4回分のワークショップを1度に詰め込んだような内容でしたが、みんながよく積極的に参加してくれました。考えてくれたキャッチフレーズにコミュニティのつながりがにじみ出ています。

When you are 50 years old, What will you be?

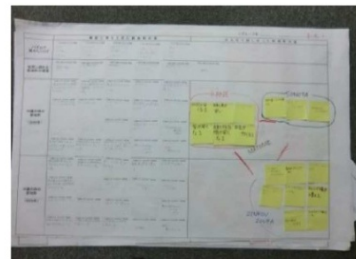
班サポーター 所属 協和C 名前 佐藤千尋

1年3組 グループ④

	事前に考えてきた新地町の姿			みんなで話し合った新地町の姿	
パズルで 見たことば	たのしい おかね ふるさと	ともだち しんらい しぜん	たのしい おかね しんらい	けんこう もったいない しんらい	きぼう あんしん たのしい
世界に誇れる 新地町の環境	自然（海） 山と海がきれい 空気がきれい	山、海、自然がそろうている 森林がたくさんある 鹿狼山			キャッチフレーズ 自然豊か
50歳の時の 新地町 (2050年)	観光地がふえる 人口もふえる 移住してくる人がいる 仕事が安定している いろいろと便利になっていごちよくなっている。 子どもが多くなっている 神楽がつづいていけばいい 堤防など防災をそなえる イベント企画による観光客の増加 ショッピングセンターができる	道路もいっぱい開通 大きい建物が多くなる 海水浴ができる 就職先がふえる 町が復興している 観光スポットがある お年寄りの施設が沢山!!	KANE 物価が安くなる 家が安くなる 自動車販売が安くなる	自転車が安い 年金が多くなる	SONOTA 復興し人口が増える 自然を生かしたイベント増加 ゲームがいっぱいある
30歳の時の 新地町 (2030年)	電気自動車がふえる 新しい住宅が多くなる 自然をつくる町づくり 人口が多くなる 長期をかけて堤防の製作 自然が豊かになっている 豊かな自然をいかしたイベントが沢山。 買い物が便利にできるというけいかくが進んでいる 二酸化炭素を減らす努力が進んでいる 勉強できる場所やみんなのあつまる場所ができている。	遊園地や博物館ができる 観光地が増える	ZINKOU ZOUKA 小さい子供愉しく遊べる施設がたくさんある 観光スポットがある 就職先が沢山ある しせつが沢山ふえる 遊び場がふえる	エアリがいっぱいある 客が増える キャンプ場が増える 住宅地がふえている	

発表の内容

- ・1つ目は経済面での希望。物価が安くなり年金が多くなるといい。
- ・次は「人口増加」。大型施設や観光スポットの増加で人を増やす。
- ・その他として、復興、ゲームがいっぱいある、自然を活かしたイベントの増加など。
- ・最終的にはたくさんの方が不便なく暮らしやすい町であってほしい。



班サポーターからのコメント

一番強く感じたことは、参加された中学生の新地町に対する将来の意識の高さです。
(私が中学生の時は、それほど考えてなかったと思います・・・)

いまの豊かな自然を残しつつ将来的には新地町がより住みやすく、楽しめる街になるのを望んでいるのだと感じた。

When you are 50 years old, What will you be?

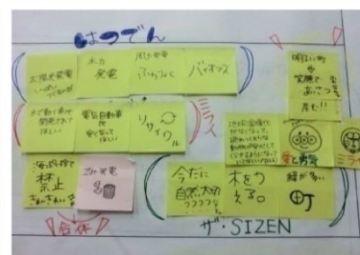
班サポーター 所属 新地町 名前 加藤孝佳

1年3組 グループ⑤

	事前に考えてきた新地町の姿	みんなで話し合った新地町の姿												
パズルで見えたことば	<table border="1"> <tr> <td>おかね</td> <td>あんしん</td> <td>けいき</td> <td>けんこう</td> </tr> <tr> <td>ねんきん</td> <td>きぼう</td> <td>たのしい</td> <td>ともだち</td> </tr> <tr> <td>けいき</td> <td>しぜん</td> <td>ねんきん</td> <td>しぜん</td> </tr> </table>	おかね	あんしん	けいき	けんこう	ねんきん	きぼう	たのしい	ともだち	けいき	しぜん	ねんきん	しぜん	
おかね	あんしん	けいき	けんこう											
ねんきん	きぼう	たのしい	ともだち											
けいき	しぜん	ねんきん	しぜん											
世界に誇れる新地町の環境	きれいなあ!!うみ!!海!! きれいな・・・海 きれいな海 きれいな川													
50歳の時の新地町 (2050年)	『ポイステ』禁止を守り、外見も内面もきれいな新地町 争いの無い、平和な世界。(笑顔が絶えない) きれいな自然が残っている。空気がきれい。 ホテルや大きな会社がたっている 住みやすくなる。 自然がいっぱい 自然を大切にすることをゼンテイにまちづくり 住宅がたくさん建って住民が増える。にぎやかワイワイ! スーパー、コンビニ、デパートが必ず建っている 介護施設が増えている	はつでん 太陽光発電いっぱい作るのだ 水力発電 風力発電 バイオマス リサイクル 合体 ごみ発電 海ポイ捨て禁止きれいきれい ミライ 水で動く車が開発されてほしい 電気自動車が安くなってほしい ! HAPPY ! 明るい町⇒笑顔であいさつ。ふれあい。 ザ・SIZEN 自然大切にする 木をうえる 緑が多い町 地球温暖化がなくなり絶滅しそうな動物が安心して暮らせる												
30歳の時の新地町 (2030年)	温泉がふえている 店やスーパーがいっぱい建つ 便利な道具ができて、年よりとかを助けたい きれいな自然が残っている。 放射線がなくなっていてほしい 争いや事件がない 少子化問題がなくなって、子だくさんの町に。 二酸化炭素が少ない、自然がきれいな町。 住みやすくなっている (コンビニ・スーパー等)													

発表の内容

- ・2050年のキーワードが2つでした。
 - ・キーワード1は「太陽光発電」。それぞれの発電に弱点があるので、お互いに補い合う発電所をたてる。
 - ・キーワード2は「未来」。水で動く車の開発。海に捨てられたゴミをゴミ発電に利用する。
- できるだけリサイクルできるものはリサイクル。
- ・木を植え、自然を大切に作る町に。
 - ・最後に、明るい町、笑顔あふれる新地町であってほしい。



班サポーターからのコメント

When you are 50 years old, What will you be?

班サポーター 所属 尚英中学校 名前 武澤さやこ

生徒の皆さんは基本的にワークショップに対してとても協力的で、短時間の中でもかなり密度の濃い議論をすることができたのではないかと思った。宿題の記述からは、皆さんが新地町の良い面や今後心配される面などについてよく知っており、郷土への愛着を強く持っていることが伝わってきた。

各班の議論では、サポーターの適切な支援のお陰もあり、ほとんどの子がバランスよく発言している雰囲気であった。議論されていた内容は、どれも今後の新地町にとって重要な課題ばかりで、町の現在の姿や将来心配される要素などについて、しっかりと問題意識を持って臨んでいる様子が見ええた。また、環境問題に関する話題提供後には、その内容に即した視点を自身の意見に上手に取り入れている様子も見ええた、生徒の皆さんのポテンシャルの高さを感じられた。ただ、どのようにして望む将来像を実現していくか、そのためにどのような取り組みが必要かについて、もう少し各班で意見を深められると良かったと思う。

最後の発表では、少し戸惑いや恥ずかしさを感じている様子もあったが、各班ともチームワークの良さを活かして立派に発表していたように思う。付箋の意見のまとめ方にも工夫が凝らされており、色分けをしたり、イラストを入れたり、矢印で意見同士を結んで動きを出したりと、班ごとの個性が感じられた。時間がもう少しあれば、各班でのより深い議論の経過まで報告することができたのではないかと思われる。

ワークショップ後のアンケートの回答でも、生徒の皆さんがおおむね高い興味関心を持って臨んでいた様子が見ええた。また、「将来のために私たちにできることはたくさんあるので、できることはどんどん取り組んでいきたい」との頼もしいコメントも見られ、新地町の復興や発展に向けて、今後の皆さんの活躍に期待が高まる内容であった。

今後のフォローアップとして、例えばまち歩きとワークショップを組み合わせれば、今回のワークショップで提示された将来像やそこに至るロードマップを、より具体的に膨らませる契機になりうるのではないかと思われる。(新地町の白地図を準備して、そこに具体的な施設などをマッピングしていく作業をすると、より具体的な姿がイメージできるのではないか。) また、そこに新地町で環境研が支援を行う事業に関する情報(くらしアシストタブレット事業、火力発電排熱の利用など)のインプットやフィードバックの機会が設けられると、新地町と環境研ならではの先進性、独自性も出てくるのではないかと考えられる。今後の連携の進展に期待したい。

全体意見のとりまとめ

2050年の新地町について出た意見は3クラス15グループ合計で、約340個となった。1班あたり平均で約22.5個、一人平均3.8個であった。その概要を表3.1にとりまとめる。

都市化や人口増などの夢を膨らませた項目が最も多くなっていたが、自然をこれからも守っていきたいという強い意志も感じられる。また、地域独自の神楽や特産品、鹿狼山、海などへの評価も一定しており、新地町のことをよく知っている、又はよく教えられている印象だ。

表 3.1 2050年の新地町について出た意見

分類	項目	数	合計
都市化	施設増(店舗・公共施設等)	47	93
	交通の便の改善(高速道路・駅等)	36	
	自動車の進歩(電気自動車・エコカー)	5	
	便利・住みやすい	3	
	都市化・近代化	2	
夢	人口増(人口・若者・子ども、住宅等)	34	81
	観光増(観光客・観光スポット・案内人等)	18	
	発展・活気・にぎわい・豊か	11	
	技術の進歩(タイムマシン・ドラえもん等)	9	
	イベント	4	
	就職先増える、仕事が安定	3	
	医療の進歩	2	
自然	自然が豊か	39	62
	自然エネルギー(太陽光・風力等)	15	
	ごみ減、リサイクル進む	8	
地域独自	海の再興(きれいになる・海水浴できる等)	13	33
	農業・漁業	9	
	神楽・伝統	4	
	特産品	4	
	鹿狼山	3	
社会	高齢者施設の充実	10	20
	経済(消費税・物価・年金)	7	
	高齢者増、高齢化進む	3	
震災	復興	10	25
	災害に強い	8	
	放射線減(原発等)	7	
心	安心・平和・仲よし・笑顔	9	17
	コミュニケーション、交流、絆	8	
教育	学校・教育	7	7
合計			338

図 3.1 は、出された意見を数の多い順に並べ替えたものである。全体を見ると、今より悪くなっている未来という意見は、高齢化が進むという主旨のものだけであり、これも高齢者施設の充実とセットで出された意見であることを考慮すると、ほぼ全ての意見が今より良くなっている未来を描写したものである。震災や原発事故による被害を目の当たりにしていることから、これ以上は悪くなることはないという前向きな姿勢とも考えられる。さらに、図 3.2 には、特徴的な意見やキャッチフレーズとして出されたものを取りまとめる。

今後は、地域の夢のある未来に向けて、「自分のできること」「他人の力を借りること」、「町に住み続けてできること」「町を離れてもできること」などの分類や、新地町の白地図に想定した施設や自然を描いて、都市と自然のバランスをみること、その将来地図をもとにまちを歩いてみることなども、将来像を共有する上で、有効な手段となるだろう。

【2050 年の新地町 意見ベスト20】

順位	項目	票数
1.	施設増(店舗・公共施設等)	47
2.	自然が豊か	39
3.	交通の便の改善(高速道路・駅等)	36
4.	人口増(人口・若者・子ども、住宅等)	34
5.	観光増(観光客・観光スポット・案内人等)	18
6.	自然エネルギー(太陽光・風力等)	15
7.	海の再興(きれいになる・海水浴できる等)	13
8.	発展・活気・にぎわい・豊か	11
9.	高齢者施設の充実	10
9.	復興	10
11.	技術の進歩(タイムマシン・ドラえもん等)	9
11.	農業・漁業	9
11.	安心・平和・仲良し・笑顔	9
14.	ゴミ減、リサイクル進む	8
14.	災害に強い	8
14.	コミュニケーション、交流、絆	8
17.	放射線減(原発等)	7
17.	学校・教育	7
17.	経済(消費税・物価・年金)	7
20.	自動車の進歩(電気自動車・エコカー)	5

図 3.1 多かった意見とその内訳

【キャッチフレーズ】

- 伝統的な行事などを大切にする町
- みんな仲良く！
- 自然が多く団結力があってみんなが元気！
- 自然豊かで明るく安全、安心な新地町
- 自然を保ちつつ都市化を進める

【特徴的な意見】

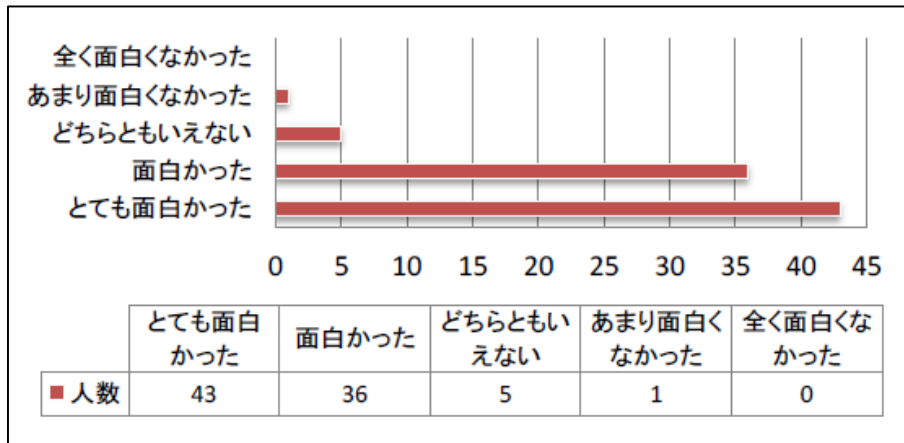
- 住みたいと思う町になっている
- 地産地消ができて日本で誇れる食材がある
- 農業に携わる若者を増え活発化
- 町民達と協力してにぎやかな町になる
- おいしい野菜を売り込めるような定期市を設ける
- 世界一美しいまちになる
- 大農園をつくり都市から農業が好きな人を受け入れる
- 子ども達に夢をたたえるような教育のしかた
- 神楽が有名になっている
- 町のみんなで協力して花を植えきれいな町に
- 外見も内面もきれいな新地町
- ずっと子どもの声が響いている町
- (放射線の心配なく)釣りができる
- 夢をサポートする子どもが使いやすい施設
- 鹿狼山は今とかわらず人気スポット
- 人口増加のために世界にネットで移住を呼びかける

図 3.2 ワークショップで出された特徴的な意見とキャッチフレーズ

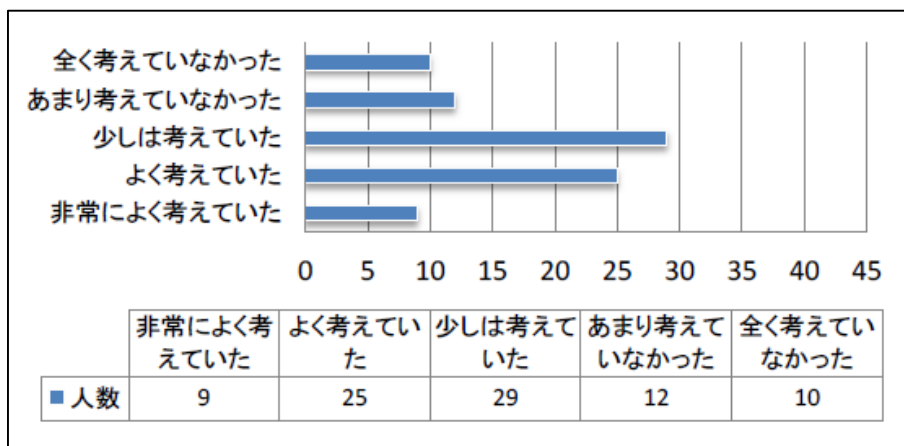
「2050年の新地町を考えよう！」アンケート（1年生全体85名）

今後の参考と今回参加していただいた中学生の関心を知るために、アンケートを行った。
アンケート票は、付録3に示す。

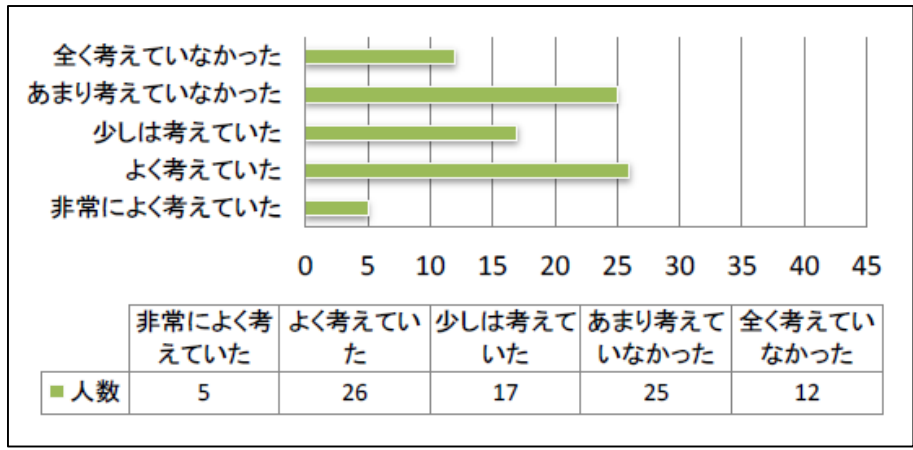
1. 本日の議論に参加しての感想について、最も当てはまる番号を1つ選んで下さい。



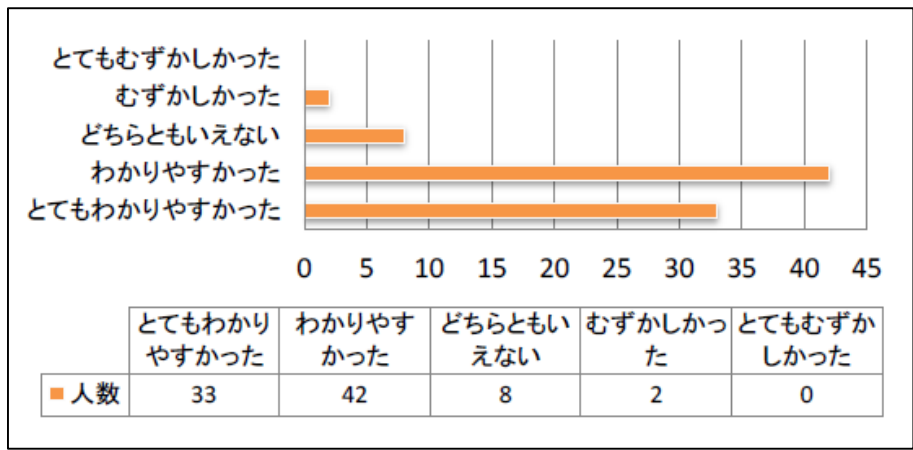
2. これまでにあなたは、あなた自身の将来（2050年）について、どの程度考えていたでしょうか？



3. これまでにあなたは、新地町の将来（2050年）について、どの程度考えていたでしょうか？



4. 本日の専門家のお話は どうでしたか？最も当てはまる番号を1つ選んで、○をつけて下さい。



5. 本日の論議を通じて、将来のあなた自身や新地町について考えることについて印象に残ったことや、将来のために取り組んでみようと思ったことがあれば、自由に書いてください。

- ・ 2030年、2050年の新地町の将来について考えることができた。
- ・ 将来のことを、とてもよく考えることになった。
- ・ 2030年は高速道路ができ、行き来が便利になっていると思う。
- ・ 福島県では、部屋を暖める人が多い。
- ・ 将来のためになる話を聞いて良かった。エネルギーについてさらにわかった。
- ・ ほかの班の発表を聞いて、いろいろわかったことがあった。
- ・ エネルギーについて、さらに詳しくわかりました。
- ・ 自然豊かになるために、再生可能エネルギーをやることがわかった。
- ・ 友達と話し合っ、新地町のことについて考えるのは大切だと思いました。
- ・ 新地町のためにできることを頑張りたい。
- ・ 普段は考えていなかったのですが、こんな風にみんなで新地町のことを考え、特に福祉を意識したい。

- ・ 家族の幸福=一番の幸せ。法律が変わろうが、総理が変わろうが幸せは家族が一番。
- ・ 今日出た案が、新地町で本当になったらいいな。という案が多かったので面白かったです。
- ・ 印象に残ったのが、30年後、50年後、新地町にいないことを希望しているという人が多いということです。自分も新地町から出たいと思っています。
- ・ 福島県は、部屋を冷やすのが少ないことが印象に残った。
- ・ エネルギーは大切にしようと思った。
- ・ 将来、大人になったらどうなるかを想像することが出来た。
- ・ 新地町について、あまり考えたことがなかった。
- ・ 私たちが自然を大切にしつつも、発展させるよう頑張っていこうと思いました。
- ・ 工業系の仕事について、新地町の都市化に役立てたい。
- ・ 復興が進んで、都市化につながればいい。
- ・ 少しでも早く、復興が出来るように、リサイクルなど、私たちに出来ることをやっていきたい。
- ・ 今の私たちなどが、誰でも住みよい町にしていくのだと改めて思えた。
- ・ ゴミのことを聞いて、少しでも減らせるように自分でも努力していきたいと思いました。
- ・ 新地町の素晴らしさがわかった。
- ・ 町のため、行事等に出たい。よさこいなどで・・・。
- ・ ゴミは新地町で出して、処分するのではなく相馬などにも協力してもらっていることがビックリだった。
- ・ 駅伝で上位になって、みんなに喜んでもらいたい。
- ・ お年寄りにも住みやすい町に出来るよう、取り組んでいきたい。
- ・ きれいな町にしたいから、ゴミを出す量を減らしたり、ポイ捨てをなくしたい。
- ・ 将来について、もっと考えようと思った。
- ・ とても楽しい時間だったし、未来について考えるようになりました。
- ・ ゴミの話聞いて、少しでも無駄なゴミが出ないように、使えるものは最後まで使いたいと思った。
- ・ 将来のために私たちができることはたくさんあるので、できることはどんどん取り組んでいきたい。
- ・ 今まで、新地町のことや、自分の将来についてよく考えていなかった。
- ・ 今までこんなこと考えてなかったから、考えてみたら楽しかったし、未来についてちゃんと考えることが出来てよかったです。
- ・ これからは、自然や温暖化を大切にしていきたいです。
- ・ 温暖化について、あまり考えていなかった。話を聞いて、今から87年後には温度が、5度上がると聞いたので、自分が出来る事、二酸化炭素をあまり増やさないように組みたい。
- ・ 温暖化をなくすために自分が出来る事は協力したいと思った。
- ・ 将来について考えることが出来てよかった。
- ・ 自分自身のこと、新地町のことについて、今日はとてもたくさん考えることが出来てよかったと思いました。

- ・ これからも自分自身で、このような未来について考えることを増やしてもいいと思いました。
- ・ 地球温暖化による影響をなくすため、電気や水をあまり使わないようにしたいと思いました。
- ・ 新地町は、今でも豊かであることがわかった。
- ・ 二酸化炭素などを出さないように、エアコンなどをあまり使わない。
- ・ 将来は、まだ先のことだと思っけていても、今から考えていた方がいいと思いました。
- ・ 町のゴミ拾い。
- ・ 1人1人の取り組みが、とても大事なんだと改めて思った。
- ・ 今日の授業を受けて、新地町のことをもっと深く考えて行こうと思った。
- ・ 節電、節水
- ・ 二酸化炭素が減るような生活を心がける。
- ・ 将来、たくさんの人が暮らしやすい生活を送れるように、今から節電や節水などを心がけようと思った。
- ・ 将来のことを考えて行きたい。
- ・ 新地町についてよく話すことが出来たうえ、自然問題についてわかった。
- ・ 使っていない電気があつたら消す。
- ・ 友達の意見などが聞けてよかった。
- ・ 今回学んだことを意識していきたいと思います。
- ・ 2050年になつても、自然を大切にしていきたい。
- ・ 子どもたちの将来が、明るいものになつてほしいと強く思いました。

4. まとめと今後の課題

今回実施したワークショップでは、2時間という短い時間ではあったが、新地町立尚英中学校の1年生を対象に、全部で15の生活班に分かれて2050年の将来像について様々な意見を出していただいた。当初、尚英中学校の先生方からは、意見が出るか心配という声が多く聞かれたが、実際にはそうした心配は杞憂で、非常に活発で新地町を真剣に考えている姿を見ることができた。特に、鹿狼山や釣師浜といった自然を大切にしたいという意見が多く出されるとともに、鉄道の再開とともに賑わいが戻ってほしいという意見も目についた。また、震災からの復興という面を強調する意見も数多く見られた。こうした意見は、国立環境研究所において行う環境創生研究プログラムにおいて、将来像を検討する上においても、2050年まで社会の中心で活躍する若者代表の意見として尊重したいと考えている。

一方、今回のワークショップでは、エネルギー、ごみ、温暖化問題の講義は行ったものの、2050年の将来像に関しては条件等を与えずに自由に描いてもらったことから、その実現性や現状の復興計画との整合性など、改めて検討すべき点も多い。新地町を含めた周辺自治体や日本全体の過去のデータや町の現状、復興の状況も踏まえて、将来ビジョンを改めて検討してもらうことも必要になると考えており、機会があれば、追跡調査としてのワークショップも行っていきたいと考えている。また、今回対象とした中学1年生以外の世代が、同じく2050年の社会像、ビジョンをどのように考えているかについても、是非意見を聞きたいと考えている。

将来を正確に予測することは不可能であるが、将来を考えることは、様々な状況に置かれても的確に判断する能力を養うことができるといえる。東日本大震災では「想定外」ということばをいろいろな場面で耳にしたが、想定外のことが起きたときにこそ、適切な判断能力を発揮することができるといえる。今回の取り組みが、豊かな将来を実現するとともに、現在行われている復興事業が持続可能な社会につながる契機となれば幸いである。

付録1 事前に配布した宿題

(1) 宿題の説明シート

宿題の説明

国立環境研究所

1月23日の総合学習の時間を使って、「2050年の新地町」について、生活班のグループごとに話し合ったり、その結果をまとめて発表したりする「ワークショップ」というかたちの授業をします。

このワークショップは、みなさん自身や新地町の目指すべき将来の姿を考えてもらうため、そして、環境問題について勉強し、その解決を目指す社会について考えてもらうために行います。

今回は、この授業のために、学校の外から環境問題の専門家や、それをサポートする会社の方、地元のNPO法人みらいとの方、新地町役場の方が来て、環境問題についてお話をしたり、グループ作業のお手伝いをしていただきます。

とは言っても、23日にいきなり知らない人の前で2050年のことを考えて、自分の意見を発表しなさいと言われても困りますよね。だから、その準備のために、みなさんに宿題をしてきてもらいます。この宿題をしてこないと、当日は何もできなくなってしまうので、きちんとやって来てくださいね。

宿題は全部で3つあります。下の説明の順番に考えて下さい。

クリアファイルには、この用紙以外に、以下の4つの用紙が入っています。

[1] A3の用紙（表に書き込む）

[2] [1]の例

[3] シール用紙（2050年の新地町、2030年の新地町、パズルでみつけた3つのことば、世界に自慢できる新地町の環境、を書き込む）

[4] パズル

あなたの自由な意見を期待しています。

【1つめの宿題】

まずはじめに、2050年、あなたが50才になったときに、何をしているか、何をしたいか、ということ想像して、表の(1)①に書いて下さい。どこで、どんな生活をしているか、仕事は何か、家族はどうなっているかなど、自由に書けるだけ書いて下さい。

次に、同じ2050年、あなたが50才になっているときに、「新地町」がどうなっているか、今とくらべてどのように変わってほしいか、また、今のままでいてほしいところは何か、などを、表の(1)②に書けるだけ書いて下さい。

書けたら、その中から「これはぜったいにそうなってほしい！」というものを3つだけ選んで、シール用紙の「50才のとき(2050年)の新地町」のところに1つずつ書いて下さい。

次に、上で書いた2050年のあなたのようなすと今のようすから、2030年、あなたが30才になったときに何をしているか、何をしたいか、何をしなければいけないか、ということ想像して、表の(2)①の枠に書けるだけ書いて下さい。

(ウラに続く)

同じように、あなたが30才、2030年のときの「新地町」のようすを、表の(2)②に書けるだけ書いて下さい。

こちらも、書けたら、その中から「これはぜったいに実現してほしい！」というものを3つだけ選んで、シール用紙の「30才のとき(2030年)の新地町」のところに1つずつ書いて下さい。

【2つめの宿題】

ひらがながたくさん書かれたパズルが入っています。

このなかには、タテ、ヨコ、ナナメに読むと、環境と関わる「ことば」として読めるものがたくさん隠されています。

それらのうち、3つを見つけて、シール用紙の「パズルで見つけた3つのことば」のところにその3つをすべて書いて下さい。

【3つめの宿題】

「世界中の人々に自慢できる新地町の環境」を1つだけえらんで、シール用紙の「世界に自慢できる新地町の環境」のところに書いて下さい。

きれいな海、鹿狼山、おいしい米や野菜、きれいな日の出、などなど、自由に書いて下さい。

宿題は以上です。

1月23日には、すべての用紙をクリアファイルに入れて、持ってきて下さい。

よろしく願いいたします。

以上

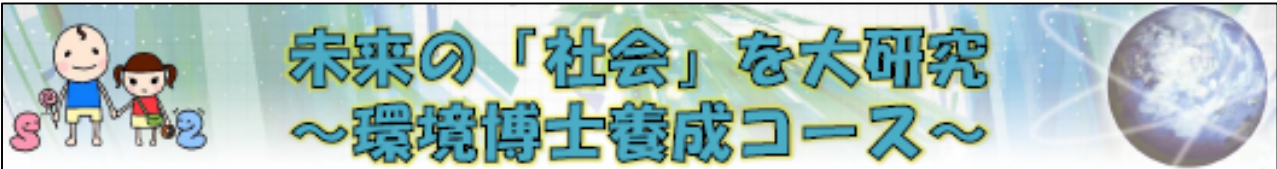
(2)2050年／2030年のあなたの生活と新地町のようす

1 年 組 氏名 _____

(1) まずはじめに、2050年、あなたが50才になったときに、何をしているか、何をしたいか、ということ想像して、表の(1)①に書いて下さい。
 どこで、どんな生活をしているか、仕事は何か、家族はどうなっているかなど、自由に書けるだけ書いて下さい。
 書けたら、同じ2050年(あなたが50才になっているとき)に、「新地町」がどうなっているか、今とくらべてどのように変わってほしいか、また、今のま
 ままでいてほしいところは何か、などを、表の(1)②に書けるだけ書いて下さい。書けたら、その中から「これはぜったいにそうなってほしい！」という
 ものを3つだけ選んで、シール用紙の「2050年の新地町」のところに1つずつ書いて下さい。

(2) (1) で書いた50才のあなたのようすと今のようすから、2030年(あなたが30才になったとき)に何をしているか、何をしたいか、何をしなけれ
 ばいけないか、ということ想像して、表の(2)①の枠に書けるだけ書いて下さい。
 同じように、あなたが30才(2030年のとき)の「新地町」のようすを、表の(2)②に書けるだけ書いて下さい。こちらも、書けたら、その中から「こ
 れはぜったいに実現してほしい！」というものを3つだけ選んで、シール用紙の「2030年の新地町」のところに1つずつ書いて下さい。

	あなたの生活	新地町のようす
50才のとき (2050年)	(1) ①	(1) ②
30才のとき (2030年)	(2) ①	(2) ②



研究その4：これから育つ未来のまち

この中からはじめに見つけた**3つのことば**が、
「あなたが未来のまちに期待すること」です。

りがばさにへめやくばろぐ
あるめいなすふるたのしい
たじとぞあもるわさきおめ
ぼぜめるんせさりいあねな
まもだほしごとれしぜんそ
うつぎをんらうさんばきぷ
むたびとありえくらしんて
はいきものんそゆいひろず
ろなぶだぺこけいきはもや
だいしちきゆうんらおまし
わくすにぼでしぎこかよめ
おけんこうひぼやペねわせ





未来の「社会」を大研究 ～環境博士養成コース～



研究その4：これから育つ未来のまち

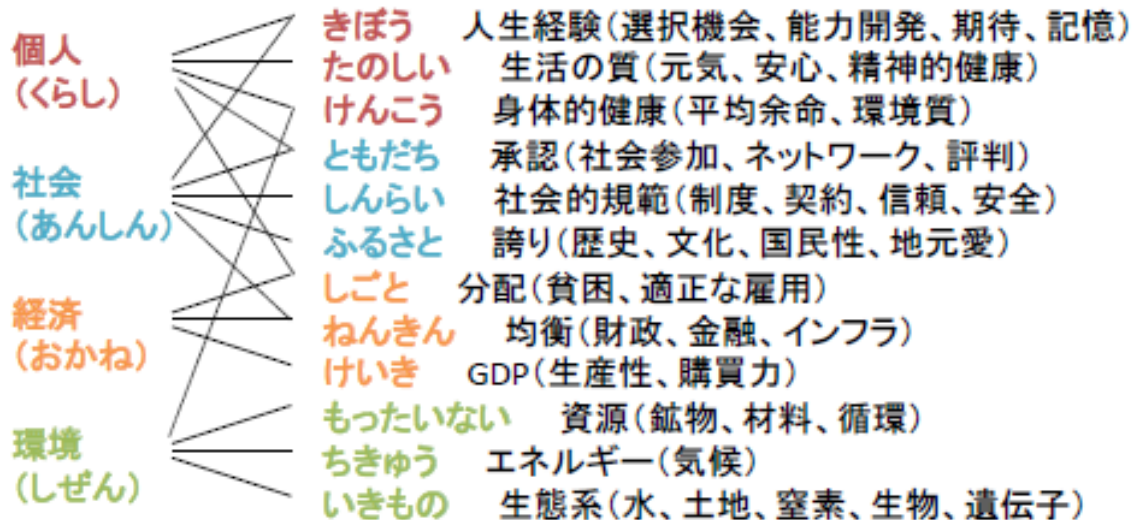
● これまでに見つかった「3つのことば」

(青) -14才、(緑) 15-64才、(黒) 65才-

くらし	17	26	2	264
きぼう	39	24	2	
たのしい	65	23	0	
けんこう	50	15	1	
あんしん	37	36	4	161
ともだち	24	15	0	
しんらい	6	8	0	
ふるさと	21	9	1	109
おかね	24	12	1	
しごと	23	22	0	
ねんきん	8	8	1	
けいき	6	4	0	
しぜん	59	24	0	185
もったいない	11	5	0	
ちきゅう	21	14	0	
いきもの	39	12	0	

-番外編-			
さとう	1	1	
さくら			
さいしん	3	1	
ほし	3	1	
なす	5		
てんし			
はいき	1		
かわ	1		
びざ			
やくば	3	2	
きもの	2	1	
きん	2		
うし	1		
いし	1		
さんば		2	

● それぞれのことばは、「持続可能な発展の評価体系」として分類できます。




わたしたちは、こうしたみなさんの身近な関心をもとに、持続可能な未来のまちを育てていく研究に取り組んでいます。



(独) 国立環境研究所 社会環境システム研究センター







2050年の新地町を考えよう！
あなたが50才になったとき、故郷はどうなっているか？


(独)国立環境研究所
NPO法人みらいと
協和コンサルタンツ

2014年1月23日
新地町立尚英中学校1年



今日のスケジュール

- 13:30-13:40 目的と作業の説明。
- 13:40-13:55 グループ作業1：一人ひとりが考えてきた新地町の未来の姿を説明。あわせて、パズルで見た3つのことばと「世界に自慢できる新地町の環境」を紹介。【1人2分ずつ】
- 13:55-14:10 環境問題についての話題提供。
- 14:10-14:15 質問。
- 14:15-14:20 休み時間。
- 14:20-14:50 グループ作業2：2050年、2030年の新地町について各グループで話し合う。
- 14:50-15:00 グループ作業3：発表のための準備。
- 15:00-15:15 グループ作業4：発表。【各グループ3分ずつ】
- 15:15-15:20 発表へのコメント、アンケート記入。



本日の会合のサポート

	1組	2組	3組
クラス担任	羽根田一弘	佐藤美千子	武澤さやこ
環境研 (全体ファシリテーター)	芦名秀一 (エネルギー)	高橋敬子	岩淵裕子
環境研 (話題提供)		金森有子 (ごみ)	増井利彦 (温暖化)
環境研	亀井未穂 戸川卓哉	藤田壮	
みらいと	小泉憲章	笠間拓朗	村上菜南
協和コンサルタンツ	佐藤恭子	山本沙代子	佐藤千尋
新地町役場	黒沢知子		加藤孝佳





この授業の目的

- 遠い将来(2050年)のみなさん自身と新地町、福島県、東北地方、日本、アジア、世界)について、イメージする。
 - どこに住んでいるか？どのような仕事をしているか？
 - 新地町の様子は？産業は？
 - 新地町の環境(自然、ゴミ、大気、水、エネルギー...)はどうなっているか？

【考えのヒント】

- 2050年に皆さんは50才をむかえます。そのときに、どのような生活を送っていたいかを考えて下さい。
- そのとき、みなさんが今住んでいる新地町にはどうあってほしいかを考えて下さい。



なぜ将来を考えるか？

- ふだんから目標となる将来をイメージしないと、それは実現しない。
- 実現したい将来に向けて、何をしなければいけないかを考えるきっかけとなる。
- 想定外にそなえる（これまで考えてもいなかったことが起きた時のための準備をする）。
 - すべてを正確に予測することはできない。
 - でも、将来をイメージしていると、想定外のことが起きてもうまく対応できるようになる。
 - 将来像は1つでなくてもいい。限りない可能性が広がっている。



7

授業の手順1

- 【グループ作業1】みなさんが宿題でやってきた新地町の2050年と2030年の姿、パズルで見つけた言葉と「世界に自慢できる新地町の環境」を紹介する。
- 【環境問題に関する話題提供】
- 【グループ作業2】生活班のほかの人の意見や、話題提供をふまえて、生活班で2050年、2030年の新地町の姿を話し合う。

[話し合いでの注意事項]

- 人の意見にダメ出ししない。
- 2050年の姿から話を始める。
- 2030年の姿は、現在と2050年の姿からイメージする。
- 考えたことは、すべてふせん紙に書き出す。



8

授業の手順2

- 【グループ作業3】話し合った内容を報告するための準備をする。
 - 何を話すか？
 - だれが発表するか？
 - 感想を加えても○。
- 【グループ作業4】報告。
 - 生活班のメンバー全員が前に出る。
- 【まとめ】



9



10

エネルギーを考えてみませんか？

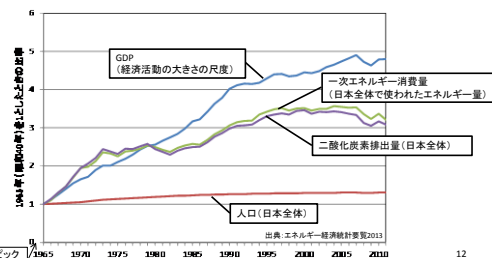
芦名 秀一
国立環境研究所 社会環境システム研究センター

2013年1月23日
新地町立尚英中学校



身近なようで遠いエネルギー問題(1/2)

- エネルギーに支えられる暮らし
 - 普段の生活ではさまざまなエネルギーを使っています。
- 日本の経済もエネルギーによって支えられている
 - 日本のエネルギー消費量は、経済活動の活発さに影響を受けています。
 - 二酸化炭素(CO₂)排出量は、ほぼエネルギー消費量の変化に沿っています。
- エネルギーは身近なはず：でも、普段「エネルギー」について考える機会はありませんか？



12

身近なようで遠いエネルギー問題(2/2)

- エネルギー問題があまり身近ではない理由の例：
 - 後から請求されるので「今これぐらいエネルギーを使っている」という意識を持ちにくい。
 - お金がいくらかかるかが事前にわかっていることについては、真剣に考えることが多いのでは？
 - 「エネルギーを使おう」と思って行動していない。
 - 「テレビを見たい」「部屋を暖めたい」など、私たちの目的はエネルギーを使うことではなく、目的を達成するためにエネルギーが使われている。
 - (特に)電気は目に見えないので「使っている実感が薄い」
 - ペットボトルや鉛筆、ノートなど減り具合が目に見えるものは実感できるが、エネルギーは多くの場合減り具合が見えない。
 - 社会のさまざまなところで、さまざまな形で使われているので、具体的なイメージを持ちにくい。
 - 大きなボイラーでお湯を沸かすのもエネルギー、車を動かすのもエネルギー、テレビを見るのもエネルギー...

私たちのくらしからエネルギーを考えてみる



14

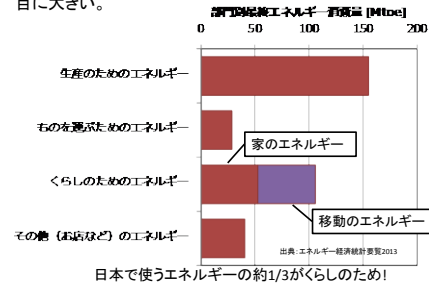
突然クイズ：共通点を探せ！ それぞれのグループの共通点は何でしょう？

(赤字はエネルギー関係)

グループ1		グループ2	
ノート	ジュース	水(水道水)	電気
野菜	公共交通機関	灯油	病院
外食	新聞	クレジットカード	ガス
テレビ	カソリン	遊園地	

くらしのエネルギー：日本全体ではどれくらい？

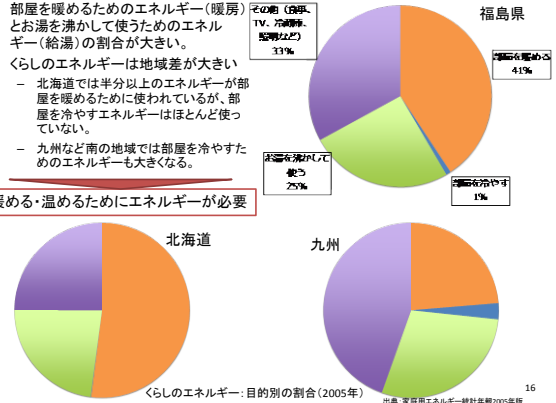
- 2011年の日本全体の最終エネルギー消費量(必要な量を満たすために使われたエネルギー)は、335 Mtoe(100万石油換算トン)
 - 産業部門が最も大きく155 Mtoe(全体の47%)
 - 移動も含めたくらしのエネルギーは、106 Mtoe(全体の32%)で2番目に大きい。



くらしのエネルギー：何のために使われている？

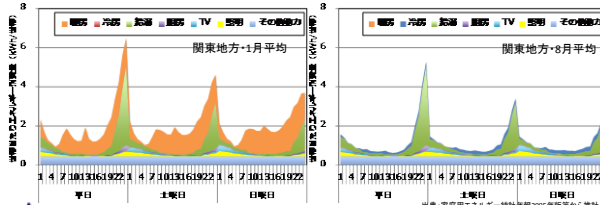
- 部屋を暖めるためのエネルギー(暖房)とお湯を沸かして使うためのエネルギー(給湯)の割合が大きい。
- くらしのエネルギーは地域差が大きい
 - 北海道では半分以上のエネルギーが部屋を暖めるために使われているが、部屋を冷やすエネルギーはほとんど使っていない。
 - 九州など南の地域では部屋を冷やすためのエネルギーも大きくなる。

暖める・温めるためにエネルギーが必要



くらしのエネルギー：いつ使われている？

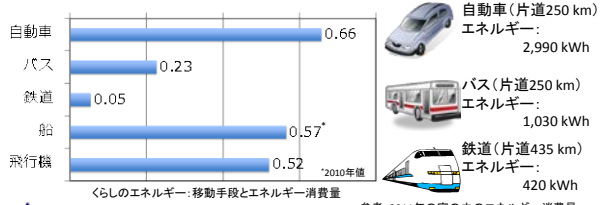
- 朝・昼・夜：家族が揃う時間帯が大きい。
 - 食事やお風呂、暖房のためのエネルギーが大きい=家族の集まる時間はエネルギー消費が大きくなる。
- 平日と週末でも違う。
 - 週末(土曜日・日曜日)はゆっくりと夜の時間を過ごす人が増え、時間で見ると最大値は下がる傾向がある。
- 季節によっても違う。
 - 暖房が必要かどうかは、いつエネルギーが使われるかに大きく影響する。



くらしのエネルギー：移動手段で変わるエネルギー

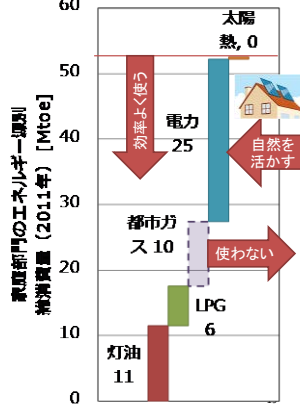
- 交通手段の選び方によってエネルギー消費量は大きく変わる。
 - 自動車での移動で消費するエネルギーが最も大きい。
 - 船や飛行機もエネルギー消費が大きい。
 - バスを使うと、自動車の約1/3のエネルギー消費で済む。
 - 鉄道のエネルギー消費量が一番小さい。

一人が1km移動するときに消費するエネルギー量(2011年値) [kWh/人・km]



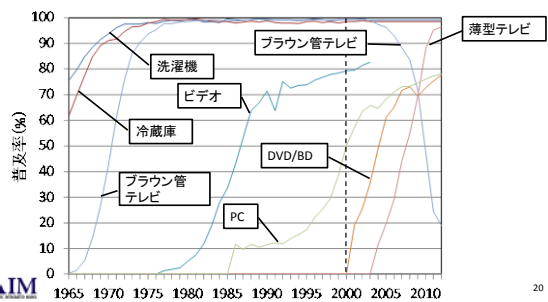
くらしのエネルギー：将来を考える3つの鍵

- エネルギーを使わないくらし**
 - 節電や車からバス・鉄道への変更のように、エネルギーを使うこと自体をやめてみる。
- エネルギーを効率よく使うくらし**
 - 電化製品を最新型に買い換えたり、ハイブリッドカーに買い換えたりすることで、効率を上げてエネルギー消費を減らす。
- 自然を活かすくらし**
 - 太陽光発電や太陽熱温水器、ペレットストーブなど自然から得られるエネルギーを活用する。



くらしのエネルギー：将来は自由だ!

- くらしは思いのほか早く変わっていく。
 - 10年でブラウン管テレビは薄型テレビに置き換わった。
 - 40年もたてば、私たちのくらしは今と全く違うものになっている。
 - 今の「こんなことができたらいいな」は2050年には実現される。



くらしのエネルギー：まとめ

- 私たちのくらしでは、多くのエネルギーを使っている。一人一人は少ないように見えても、日本全体をあわせれば約1/3がくらしに関わるエネルギー消費。
- くらしでは、主に「何かを暖める・温める」ためにエネルギーが使われている。
- 家族が集まる時間帯には多くのエネルギーが使われている。また、夏と冬を比べると、暖房を使う冬の方がエネルギー消費は大きくなる。
- 移動のしかたでもエネルギー消費は大きく変わる。一人一人が自動車で移動するよりは、みんなでバスや鉄道を使う方が少ないエネルギーで長距離を移動できる。
- くらしの変わるスピードは早い。10年もたてば今のくらしと全く違う生活が待っているかもしれない。
- (1) エネルギーを使わないくらし、(2) エネルギーを効率よく使うくらし、(3) 自然の恵みを活かすくらし、の3つの視点から将来のくらしのエネルギーを考えてみよう。

家庭ごみのはなし

金森 有子
国立環境研究所 社会環境システム研究センター

2013年1月23日
新地町立尚英中学校

何が「ごみ」なんだろう？

- 皆さんにとって、何が「ごみ」ですか？
- 今日のお話
 - ごみの問題を簡単に知りましょう！
 - ごみの種類を知りましょう！
 - ごみが出されてからどのように処理されるのかを知りましょう！
 - 新地町のごみを知りましょう！



AIM

23

ごみに関わる問題

- ごみを収集してくれる人がおらず、その辺に捨ててしまったら何が起きるだろう？
- 集めたごみはどこに捨てたらいいのだろうか？
- あなたの家の近くにごみの焼却場や処分場ができたらどんな気分だろうか？



AIM

24

ごみの問題を解決するために

- ごみの発生量を減らそう！でもどうやって減らせるの？
 - そもそも人々がごみを減らそう→減量(Reduce)
 - ある人にとっては使用しない物でも、他の人にとっては使える物かもしれない→再利用(Reuse)
 - 処理をすることで新しい製品に生まれ変わることができる→リサイクル(Recycle)

3R

Reduce減量の工夫

- (1) 容器包装の軽量化
- (2) 無駄な容器包装を断る
- (3) ごみへの課金
- (4) 無駄なものは買わない

Reuse再利用の工夫

- (1) 物が壊れたらすぐ捨てないで、修理してみる
- (2) おさがりの文化
- (3) リサイクルショップや古着市など

Recycleリサイクルの工夫

- (1) リサイクルできるものはきちんと分別収集に協力する
- (2) 中に不純物が入らないようにする

→最近では、4Rの流れもあるよ

AIM

25

日本の廃棄物

- 私たちの生活に直接関係すること、また間接的に関係することからたくさんのごみが出ます。ごみのことを「**廃棄物**」と言います。
- 日本の廃棄物は、法律で大きく**2種類**に分類されます。
 - 一般廃棄物...産業廃棄物に含まれない廃棄物。家庭から出るごみやお店から出るごみなどが「一般廃棄物」に含まれる。色々な種類のごみが混じっていることが多い。
 - 産業廃棄物...事業活動に伴って排出された廃棄物のうち法律等で定められた廃棄物。**工場等で大量に同じ種類の廃棄物**が出てくる場合、「産業廃棄物」として指定されていることが多い。

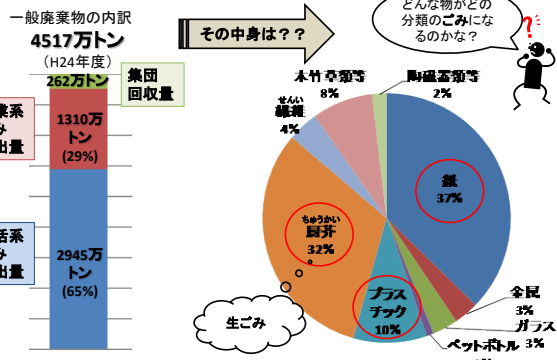
ほぼは「廃棄物」ともよべれます



AIM

26

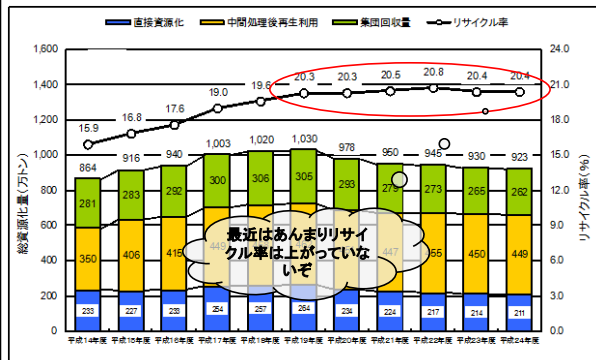
日本の一般廃棄物



AIM

27

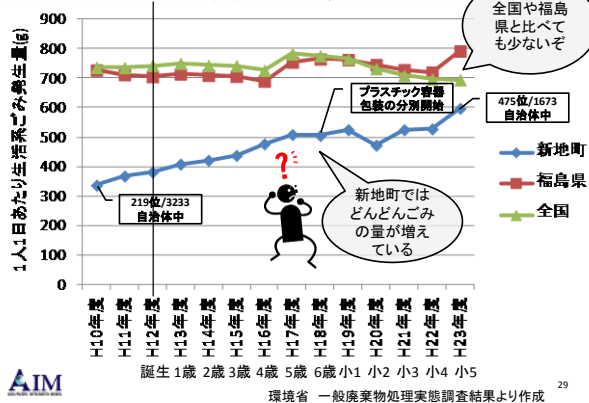
リサイクルはどれくらい進んでいるの？



AIM

28

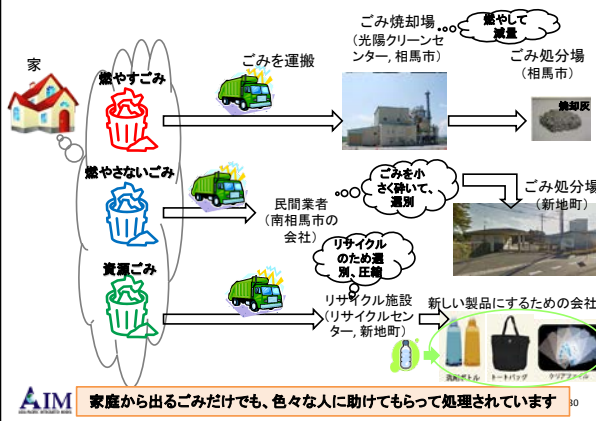
家庭ごみの排出量



AIM

29

新地町から出た家庭ごみの流れを知ろう！



AIM

30

新地町のごみクイズ

- 新地町でゴミを出す場合、何種類の分類があるでしょうか？

ヒント

「燃やすごみ」と「燃やさないごみ」でまず2種類はあるよね。さて、資源ごみは一体何種類に分類されていたのかな？？

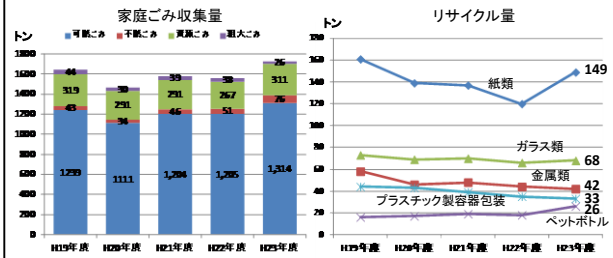
こたえ



31

新地町のごみ

環境省 一般廃棄物処理実績調査結果より作成



- ◆新地町では可燃ごみが多く出ており、その量が増えています。
- ◆リサイクル量ではペットボトル量がとても増えています。
- ◆金属類のリサイクル量は減っています。



32

お話のまとめ

- ごみは、**正しく収集・処理・処分**されないと重大な環境問題の原因になります。環境問題が起きると私たち自身が暮らしにくくなり、時には人の健康に害を与えることもあります。
- 日本では**自治体別(市町村別)**に、家庭ごみを正しく収集・処理・処分するための**ルールが決まっています**。皆さんがこのルールを守ることが大切です。
- ごみの発生量を減らすための様々な工夫が必要です。**減量(Reduce)**、**再利用(Reuse)**、**リサイクル(Recycle)**を進めていく必要があります。
- ごみの収集・処理・処分には、多くの人が関わっています。隣の相馬市にも協力してもらっています。またお金もかかります。私たちはごみを出した後のことは、考えないことが多いですが、**多くの人の支えがあること、お金がかかることを**忘れて下さい。



33

地球温暖化をくい止めるために

増井利彦

国立環境研究所 社会環境システム研究センター

2013年1月23日

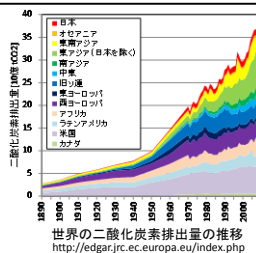
新地町立尚英中学校



地球温暖化とは？

温室効果ガスとよばれる気体が大気中に存在することで、地球の気温があたためられること。温室効果ガスの例として、

- 二酸化炭素(CO₂): ガソリンなどの化石燃料をもちやすときなど発生。
- メタン(CH₄): 水田や牛のゲップなどから発生。
- 亜酸化窒素(N₂O): 肥料などから発生。
- フロン: 冷ばいなどに使われている。



温室効果ガスがないと、平均気温は-19℃

温室効果ガスがあるので平均気温は14℃

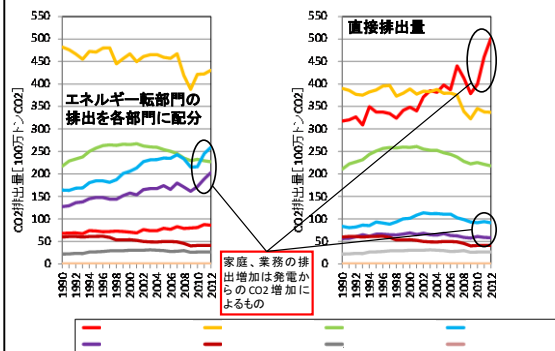
温室効果ガスがおおくなると...



35

日本における部門別CO2排出量(1990-2012年度)

※2012年度は速報値



家庭、業務の排出増加は発電からのCO2増加によるもの

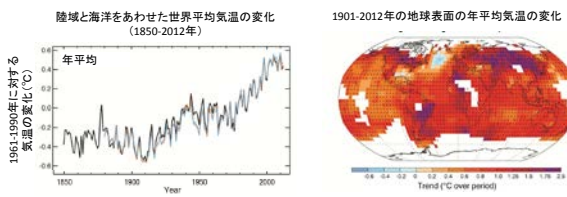
温室効果ガスインベントリオフィス <http://www.gio.nies.go.jp/aboutghg/nir/nir-j.html>



36

地球の気候はどう変化してきたか？

IPCC第五次評価報告書(2013年)より



「1880年から2012年において、世界平均地上気温は0.85℃上昇している」

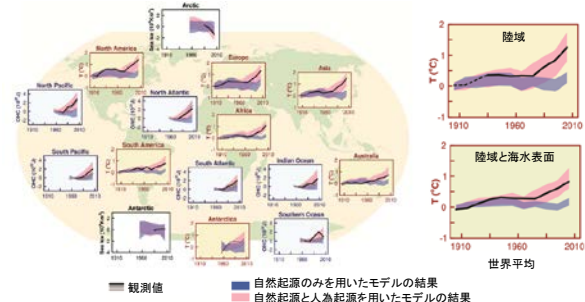


http://www.climatechange2013.org/images/uploads/WGI_AR5_SPM_brochure.pdf

37

温暖化の原因はヒトか自然か？

IPCC第五次評価報告書(2013年)より

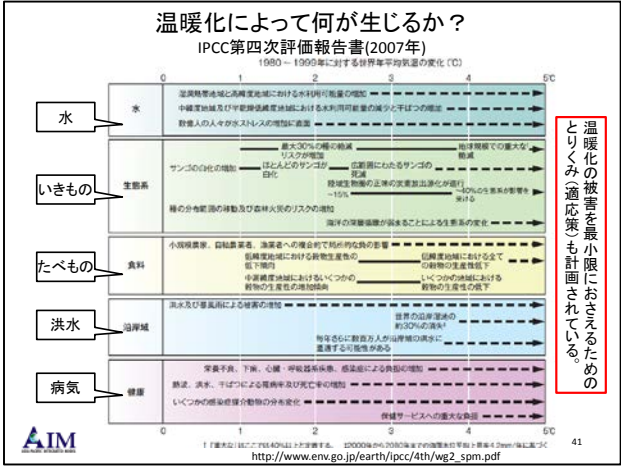
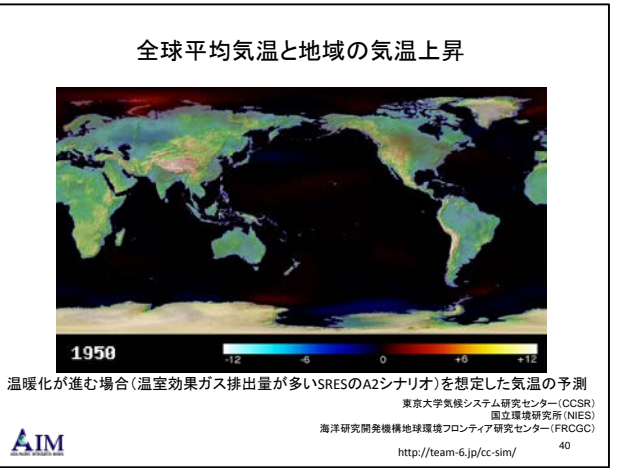
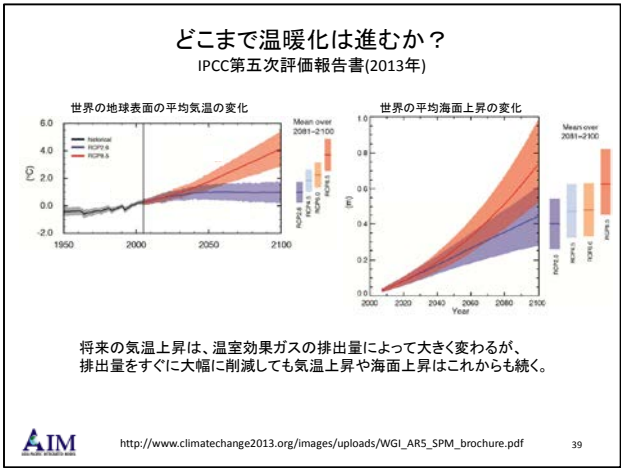


「人間活動が20世紀半ば以降に観測された温暖化の主な要因であった可能性が極めて高い。」

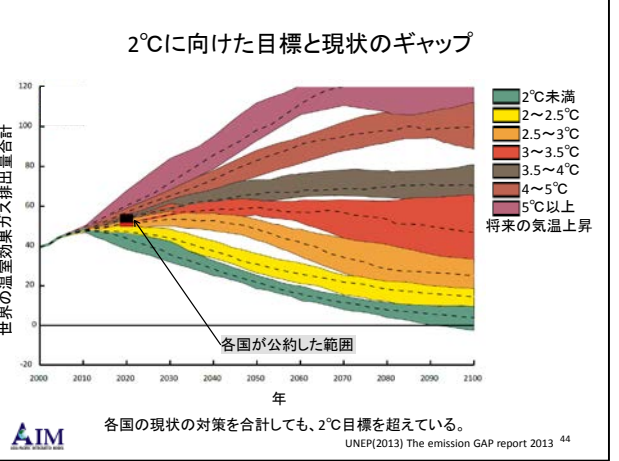


http://www.climatechange2013.org/images/uploads/WGI_AR5_SPM_brochure.pdf

38



- ### 温暖化をくい止めるために(緩和策)
- 世界全体の共通目標と日本の目標
- 2008年に北海道で開かれた洞爺湖サミットの首脳宣言では、**2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量の50%削減**を達成することを共有。
 - 2010年にメキシコで開かれた国際会議で合意されたカンクン合意では、**産業化以前の水準から世界の平均気温上昇を2°C以下に抑える観点から、温室効果ガス排出量の大幅削減が必要である**ことが認識される。
 - 日本の目標:
 - 京都議定書の第一約束期間(2008-2012年)には、**1990年比-6%**を目標とする。→原子力発電所の事故等もあったが、達成の見通し。
 - 2050年までに世界全体で温室効果ガス排出量の削減を実現するため、日本として**2050年までの長期目標として、現状から60~80%の削減**。【低炭素社会づくり行動計画(2008年7月29日)】
 - 主要国の削減を前提に、わが国の**2020年の温室効果ガス排出量を1990年比25%削減**という目標を公表。【国連気候変動首脳会合における鳩山総理大臣(当時)演説(2009年9月22日)】
 - 東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響を受け、2013年11月15日に、ポーランドで開かれた国際会議で、**原子力発電所の稼働が0という条件の下で、2020年の排出量を2005年比3.8%削減(1990年の排出量を基準にすると3.1%増加)すること**を新たな目標として公表。
- AIM 42



- ### 温暖化をくい止めるためには？
- 最新の報告では、**産業革命前と比較して地球の平均気温は0.85°C上昇**している。
 - 20世紀半ば以降の**温暖化の原因は人間活動である可能性が極めて高い**。
 - 気温の上昇で、農業や健康などにも**影響**が出ると予想されている。
 - 世界の平均気温の上昇を**産業革命前とくらべて2°C以下**におさえるという目標が国際社会で合意されている。
 - そのためには、**2050年の世界の温室効果ガス排出量を1990年とくらべて半分**にしないと行けない。
 - 2050年時点の1人あたりの排出量を等しくすると仮定すると、**日本では現状と比べて80%減らさないと行けない**。
 - けれども、**有効な手だては見つかっていない**。さあ、どうする？
- AIM 45





環境未来都市の実現に向けて

新地町 ふれあいと創造の田舎都市
Woods Town Fukushima

トップページ 生活情報 観光案内 企業情報
ホーム | 話題から探す | 企業関係 | 観光案内 | 企業情報 | 環境未来都市 | 環境未来都市に選定されました

環境未来都市に選定されました

「やっぱり新地がいいね」
～環境と暮らしの未来(希望)が見えるまち～

岩手県大船渡市、陸前高田市 住田町(人口:6.7万人)
北海道下川町 (人口:3,645人)
岩手県釜石市 (人口:3.8万人)
宮城県栗原市 (人口:4.0万人)
宮城県沼津町 (人口:4.4万人)
福島県新地町 (人口:8,110人)
福島県南相馬市 (人口:6.6万人)
千葉県柏市 (人口:40.9万人)
神奈川県横浜市 (人口:369.2万人)

● 選定都市
● 選定都市(被災地域)

新地では、政府が東日本大震災によるエネルギーの多岐化対策の先駆け取り組みを留意旨で実施する「環境未来都市推進」(国策)に選定されました。昨年10月29日(土)に選定されました。「環境未来都市推進」とは、政府が2014年1月に発表した国土強靱化戦略に掲げた国策で、スマートグリッド整備や再生エネルギー利用、発電所設備、次世代自動車等の利用拡大などの施策を効果的に取り入れ、導入するものです。今後、環境未来都市推進委員会が組織し、環境の推進に向けて施策の取り組みを進めます。

本日の成果のとりまとめ

- みなさんが提案してくれた2050年の新地町の姿は、国立環境研究所で行う研究の基礎資料として活用するとともに、新地町にも提供して、2050年に向けたまちの復興やまちづくりの総合計画に役立てていただきます。
- 3月9日(日)10:30～16:00に行われる予定の国立環境研究所「災害環境研究」報告交流会～福島復興支援と環境創造に向けた国立環境研究所の取組み～(郡山市民交流プラザ; <http://www.big-i.co.jp/>)にて、今回の成果を報告します。
 - 平成28年度には、福島県三春町に国立環境研究所福島支部を開設し、災害と環境に関する研究を進めます(現在は、準備室をつくばに設置し、研究を開始しています)。

新地くらしアシストタブレット モニター家庭募集

モニターになる方には、システムを利用するためのタブレット端末を1家庭に1台貸与します。また住居に電力使用量を計測する機器の設置工事を行います。

新地くらしアシストタブレットを使ってできること

①エネルギーアシスト

使わない電気は減らせよう

家の中の電気使用量をリアルタイムで確認できる

電気代の削減に役立ちます

②生活アシスト

CO2削減を促進し、省エネ家電を推奨します

省エネ家電の購入を促すためのポイント付与を行います

省エネ家電の購入をサポートします

③地域情報アシスト

地域の最新情報を提供します

地域のイベントや行事の情報を提供します

地域の防災情報を提供します

◆ 開催期間: 2014年1月14日(火)～2月14日(金)
◆ 募集説明会: *以下のいずれかに参加ください。
【日時】2014年1月22日(水) ①10:00～11:30 / ②19:00～20:30
【場所】新地町役所 101・102 会議室
◆ 募集モニター数: 50 世帯
◆ 貸与期間の予定期間: 2014年4月23日(水)～2015年3月31日(火)

くわしくは、「広報 新地 2014年1月号」をご覧ください。

おわりに

- 宿題の用紙、アンケートは提出して下さい。
- さらにくわしい話を聞きたい人は、以下に連絡して下さい。
- masui@nies.go.jp
- 本日はありがとうございました。これからも、ご協力よろしくお願ひいたします。

(独)国立環境研究所
NPO法人みらいと
協和コンサルタンツ

「2050年の新地町を考えよう！」 アンケート

本日は「2050年の新地町を考えよう！」の議論にご参加いただきありがとうございました。
今後の参考にさせていただきたいので、以下の質問にお答えください。

1. 本日の議論に参加しての感想について、最も当てはまる番号を1つ選んで下さい。

とても面白かった	面白かった	どちらともいえない	あまり面白くなかった	全く面白くなかった
1-----	2-----	3-----	4-----	5-----

2. これまでにあなたは、あなた自身の将来（2050年）について、どの程度考えていたでしょうか？

非常によく考えていた	よく考えていた	少しは考えていた	あまり考えていなかった	全く考えていなかった
1-----	2-----	3-----	4-----	5-----

3. これまでにあなたは、新地町の将来（2050年）について、どの程度考えていたでしょうか？

非常によく考えていた	よく考えていた	少しは考えていた	あまり考えていなかった	全く考えていなかった
1-----	2-----	3-----	4-----	5-----

4. 本日の専門家の話はどうでしたか？最も当てはまる番号を1つ選んで、○をつけて下さい。

とてもわかりやすかった	わかりやすかった	どちらともいえない	むすかしかかった	とてもむすかしかかった
1-----	2-----	3-----	4-----	5-----

5. 本日の議論を通じて、将来のあなた自身や新地町について考えることについて印象に残ったことや、将来のために取り組んでみようと思ったことがあれば、自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

((独) 国立環境研究所 社会環境システム研究センター)